

施工管理フォーマットの作成

施工管理のフォーマットは、[EX-TREND 武蔵 2015]の[ツール]の[施工管理フォーマット]の[出来形][アスファルト][コンクリート]で作成します。

本書では、次の2つの操作を解説します。

- A4 横に出来形フォーマットを作成する例
- 測点数違いのフォームを作成する例

※解説内容がオプションプログラムの説明である場合があります。ご了承ください。



出来形フォーマットの作成

1. [施工管理フォーマット(出来形)]の起動	2
1-1 [施工管理フォーマット]を起動する	2
1-2 [[出来形]を選択する	3
2. グループ・フォームの作成	4
2-1 グループを新規作成する	4
2-2 フォームを新規作成する	4
3. データボックスの作成	5
3-1 データボックスを配置する	5
3-2 行の高さを調整する	7
4. 表の設定	8
4-1 表の項目名を設定する	8
4-2 表を配置する	9
4-3 表の項目を設定する	10
4-4 表の項目の配置を設定する	11
5. グラフの設定	12
5-1 グラフを配置する	12
5-2 グラフと表を関連付ける	13
5-3 グラフの属性を設定する	14
6. 豆図の配置	15
6-1 豆図を配置する	15
6-2 豆図と表を関連付ける	16
7. データボックスの結合	17
7-1 データボックスを結合する	17
8. 請負者名などの設定	18
8-1 データボックスを配置する	18
8-2 列の幅を調整する	18
8-3 項目名、項目を設定する	19
8-4 項目名、項目の配置を訂正する	20
8-5 罫線を訂正する	20

9. 成果名の設定	21
9-1 データボックスを配置する	21
9-2 成果名を設定する	22
9-3 配置、フォント、罫線を訂正する	23
9-4 2重線を入力する	24
10. フォーマットの保存	25
10-1 フォーマットを保存する	25
10-2 [施工管理フォーマット]を終了する	25

バリエーションの作成

1. 測点数違いのフォーム作成 (測点数を30点→27点に変更)	28
1-1 新規バリエーションを作成する	28
1-2 行を削除する	29
1-3 表のレイアウトを調整する	30
1-4 バリエーションを保存する	34
2. 測定項目数違いのフォーム作成 (測定項目数を10項目→12項目に変更)	35
2-1 新規バリエーションを作成する	35
2-2 表を追加する	36
2-3 表領域を収縮する	38
2-4 バリエーションを保存する	40
3. 段数違いのフォーム作成 (段数を1段→2段に変更)	41
3-1 新規バリエーションを作成する	41
3-2 実測値・差を分割する	42
3-3 バリエーションを保存する	43

出来形フォーマットの作成



[施工管理フォーマット(出来形)]を起動して、出来形フォーマットを作成してみましょう。

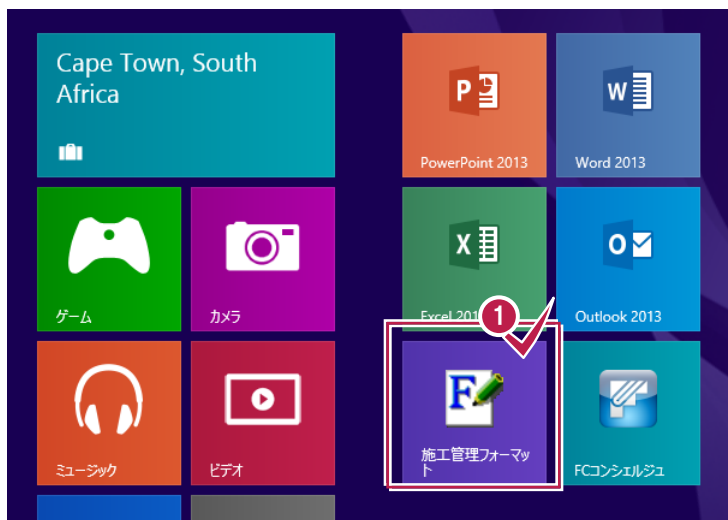
- 1** [施工管理フォーマット(出来形)]の起動
- 2** グループ・フォームの作成
- 3** データボックスの作成
- 4** 表の設定
- 5** グラフの設定
- 6** 豆図の配置
- 7** データボックスの結合
- 8** 請負者名などの設定
- 9** 成果名の設定
- 10** フォーマットの保存

1 [施工管理フォーマット(出来形)]の起動

[施工管理フォーマット]の[出来形](以降、出来形フォーマットと称します)を起動します。

1-1 [施工管理フォーマット]を起動する

本書では、Windows8.1を使用して解説しています。Windows7をお使いの方は後記のメモを参照してください。

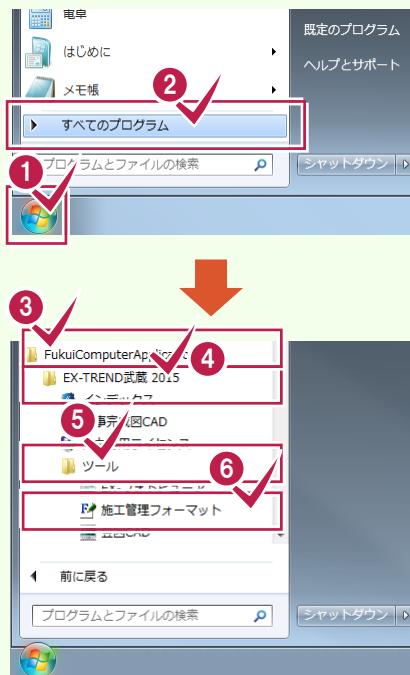


- 1 スタート画面で[施工管理フォーマット]をクリックします。



Windows7 で[施工管理フォーマット]を起動する

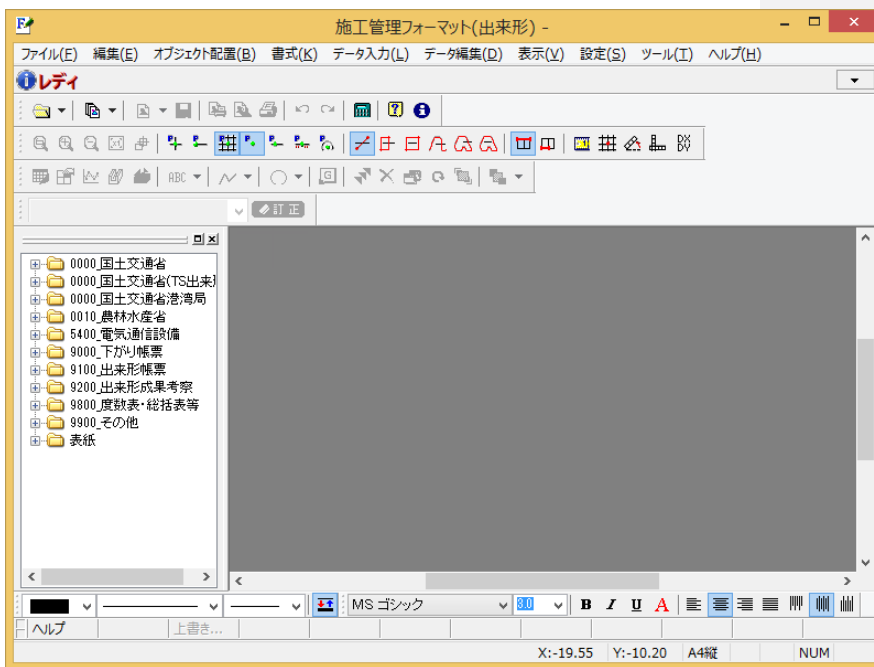
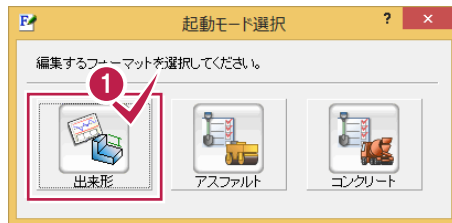
Windows7 で施工管理フォーマットを起動する場合の操作方法を解説します。



- 1 [スタート] ボタンをクリックします。
- 2 [すべてのプログラム] をクリックします。
- 3 [FukuiComputerApplication] をクリックします。
- 4 [EX-TREND武蔵 2015] をクリックします。
- 5 [ツール] をクリックします。
- 6 [施工管理フォーマット] をクリックします。

1-2 [出来形]を選択する

[出来形]を選択します。



1 [出来形]をクリックします。

メモ

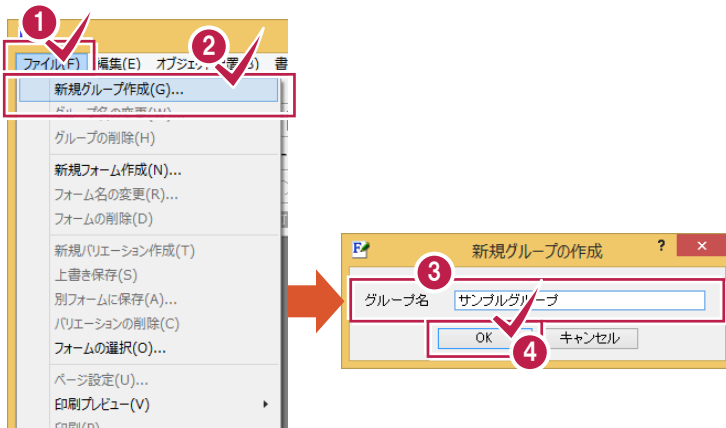
[出来形フォーマット]で度数表、総括表のフォーマットを作成することもできます。

度数表、総括表の作成については、ヘルプの「度数表(棒グラフ)の作成手順」「総括表の作成手順」を参照してください。

2 グループ・フォームの作成

グループ・フォームを作成します。

2-1 グループを新規作成する



- 1 [ファイル]をクリックします。
- 2 [新規グループ作成]をクリックします。
- 3 [グループ名]に「サンプルグループ」と入力します。
- 4 [OK]をクリックします。

2-2 フォームを新規作成する

「サンプル」グループにフォーム（「サンプルフォーム」）を作成します。



- 1 [ファイル]をクリックします。
- 2 [新規フォーム作成]をクリックします。
- 3 [グループ]で「サンプルグループ」を選択します。
- 4 [フォーム名]に「サンプルフォーム」と入力します。
- 5 [OK]をクリックします。
- 6 [ページ設定]ダイアログで用紙のサイズ、印刷余白を設定します。
- 7 [OK]をクリックします。
- 8 [OK]をクリックします。

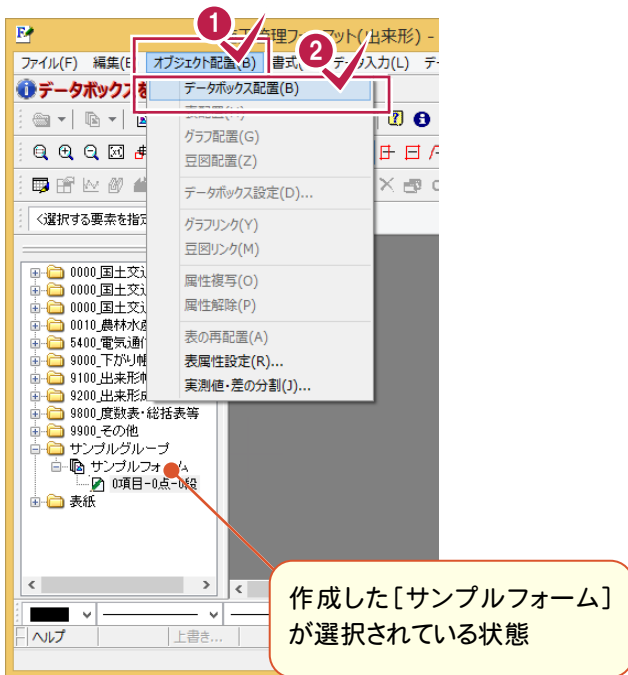
3 データボックスの作成

データボックスを作成します。

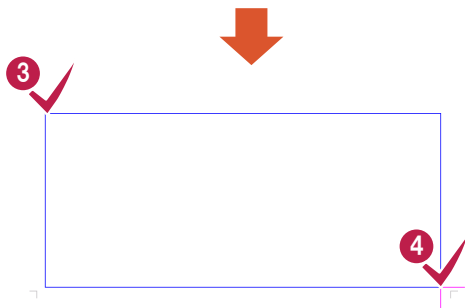
3-1 データボックスを配置する

測点名、設計値、実測値、差、グラフ、豆図を設定するデータボックスを配置します。

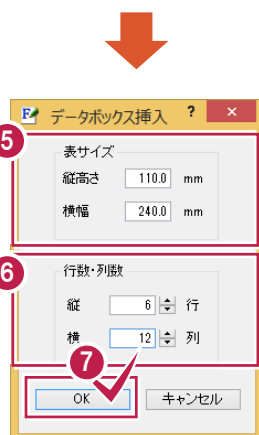
入力例の用紙は「A4横」です。[ファイル]－[ページ設定]コマンドで[用紙名称]が「A4横」になっていることを確認してください。



- 1 [オブジェクト配置]をクリックします。
- 2 [データボックス配置]をクリックします。



- 3 4 データボックスの1点目、2点目をクリックします。

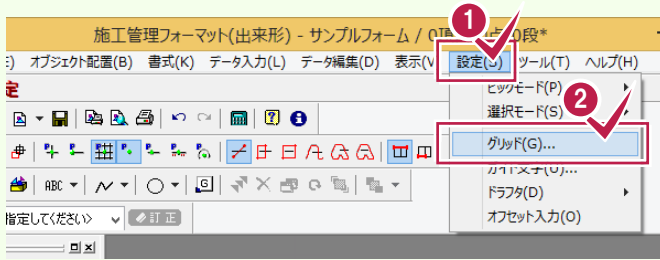


- 5 [縦高さ]に「110」、[横幅]に「240」と入力します。
- 6 [縦]に「6」、[横]に「12」と入力します。
- 7 [OK]をクリックします。



グリッドを表示する

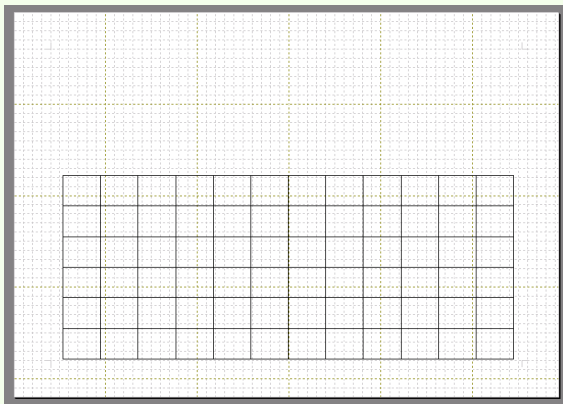
[設定]－[グリッド]で用紙全体にグリッドを表示することができます。



- 1 [設定]をクリックします。
- 2 [グリッド]をクリックします。

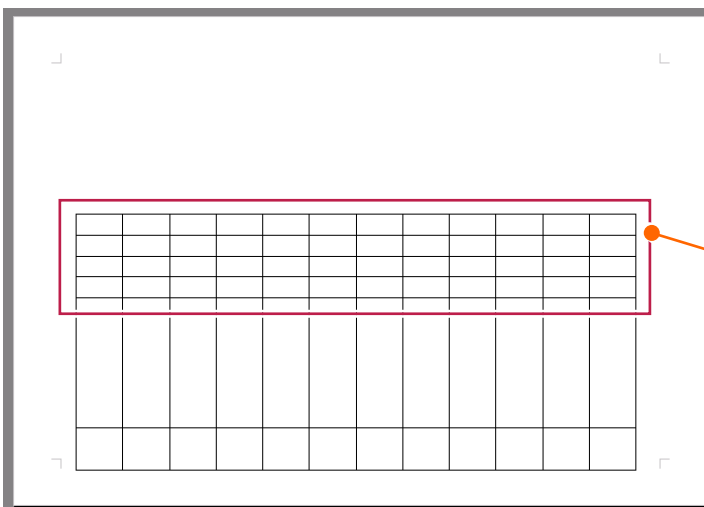
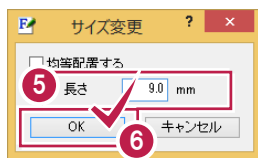
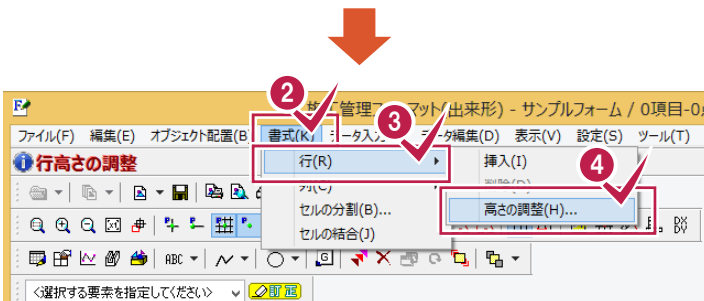
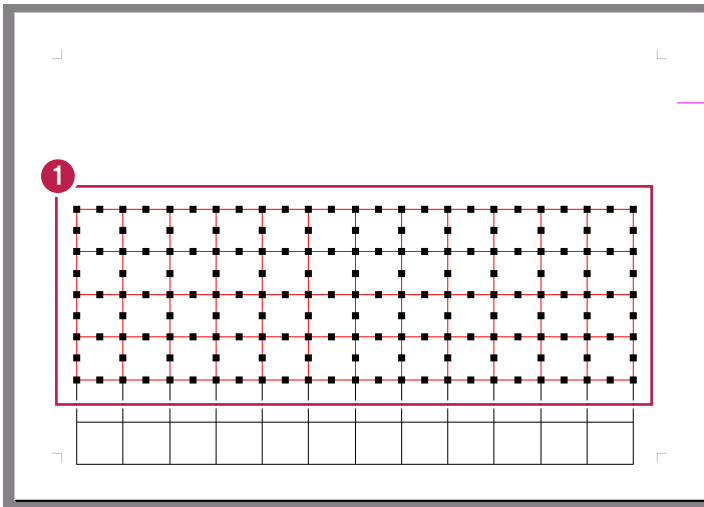


- 3 グリッドの線種、色、間隔を設定します。
- 4 [OK]をクリックします。



3-2 行の高さを調整する

均等に配置されたデータボックスの行の高さを調整します。



1 高さを調整する行を選択します。
入力例では1～4行目の行の高さを変更するので、1～4行目を選択します。

2 [書式]をクリックします。

3 [行]をクリックします。

4 [高さの調整]をクリックします。

5 [長さ]に「9」と入力します。

6 [OK]をクリックします。

行の高さが「9」に変更されます。

メモ

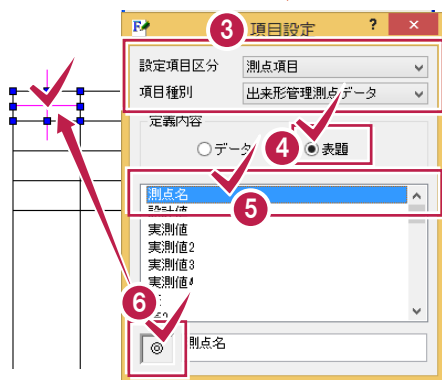
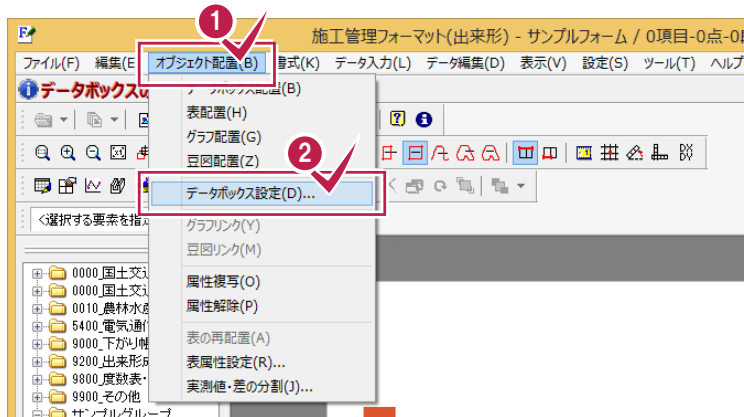
データボックスの選択には選択モードが有効です。
選択モードの設定については、[選択モード]の各コマンドのヘルプを参照してください。

4 表の設定

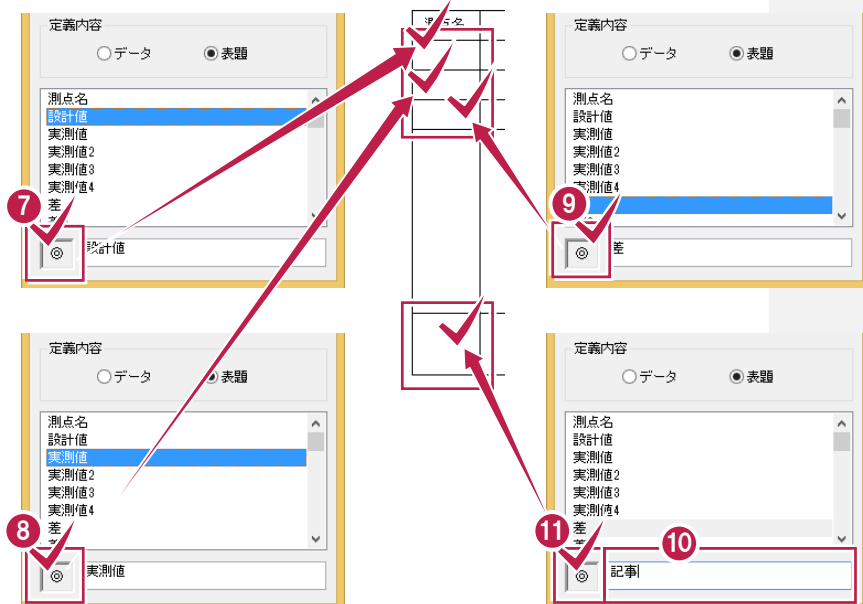
表を設定します。

4-1 表の項目名を設定する

データボックスに表の項目名(「測点名」「設計値」「実測値」「差」「記事」)を設定します。



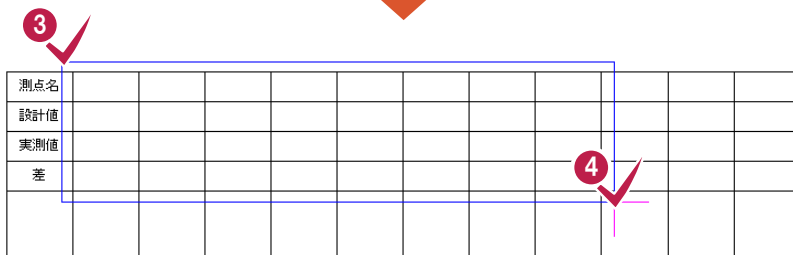
- 1 [オブジェクト配置]をクリックします。
- 2 [データボックス設定]をクリックします。
- 3 [設定項目区分]で「測点項目」、「項目種別」で「出来形管理測点データ」を選択します。
- 4 [表題]を選択します。
- 5 「測点名」をクリックします。
- 6 [◎]を「測点名」を設定するデータボックスにドラッグします。
- 7 8 9
左図のように一覧から「設計値」「実測値」「差」を選択し、データボックスにドラッグします。
- 10 ボックスに「記事」と入力します。
- 11 データボックスにドラッグします。



測点名		
設計値		
実測値		
差		
記事		

4-2 表を配置する

表を配置します。表の項目は表のデータボックスのみ設定可能です。



測点名									
設計値									
実測値									
差									

1 [オブジェクト配置]をクリックします。

2 [表配置]をクリックします。

3 4

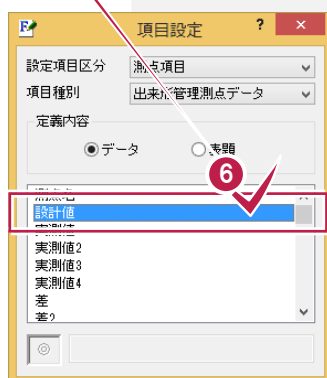
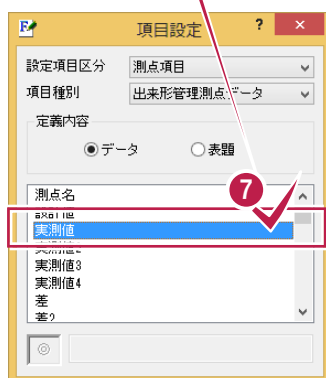
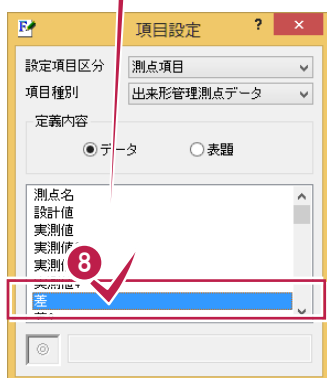
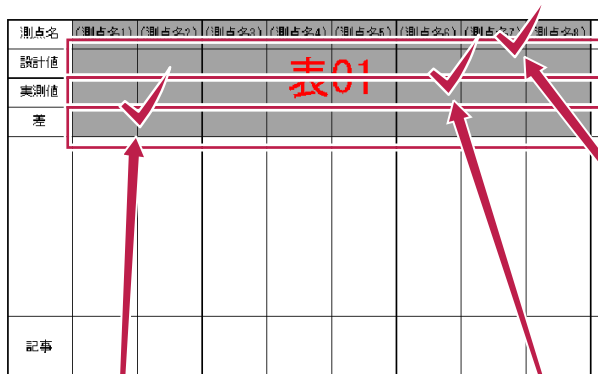
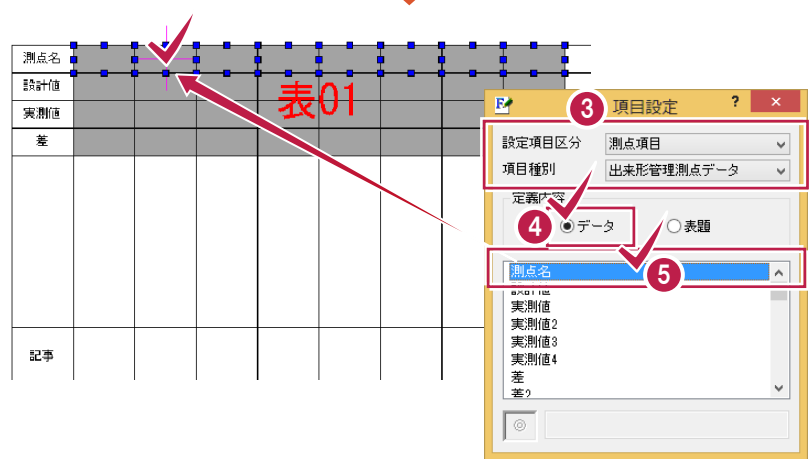
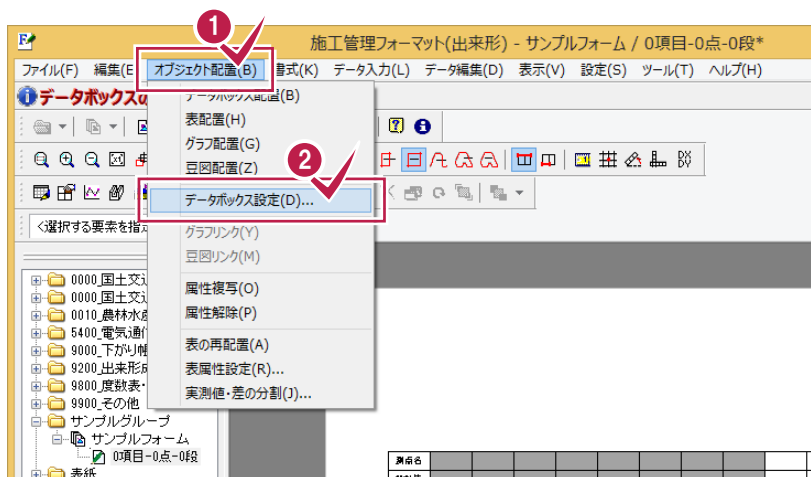
表を配置するデータボックスの範囲の1点目、2点目を対角にクリックします。

5 [横表の作成]をクリックします。

6 [OK]をクリックします。

4-3 表の項目を設定する

表の項目を設定します。



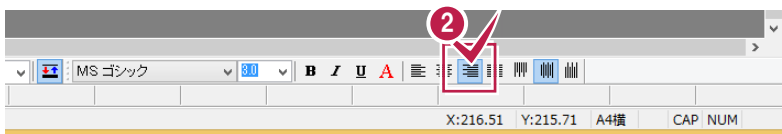
- 1 [オブジェクト配置] をクリックします。
 - 2 [データボックス設定] をクリックします。
 - 3 [設定項目区分]で「測定項目」、
[項目種別]で「出来形管理測定データ」を選択します。
 - 4 [データ] をクリックします。
 - 5 「測定名」を設定するデータボックス
にドラッグします。
 - 6 7 8
- ③～⑤の操作を繰り返して「設計値」
「実測値」「差」を設定します。

4-4 表の項目の配置を設定する

表の項目（「測点名」「設計値」「実測値」「差」）の配置を「右詰め」に訂正します。

1

(測点名1)	(測点名2)	(測点名3)	(測点名4)	(測点名5)	(測点名6)	(測点名7)	(測点名8)
(設計値1)	(設計値2)	(設計値3)	(設計値4)	(設計値5)	(設計値6)	(設計値7)	(設計値8)
(実測値_1)	(実測値_2)	(実測値_3)	(実測値_4)	(実測値_5)	(実測値_6)	(実測値_7)	(実測値_8)
(差_1)	(差_2)	(差_3)	(差_4)	(差_5)	(差_6)	(差_7)	(差_8)



(測点名1)	(測点名2)	(測点名3)	(測点名4)	(測点名5)	(測点名6)	(測点名7)	(測点名8)
(設計値1)	(設計値2)	(設計値3)	(設計値4)	(設計値5)	(設計値6)	(設計値7)	(設計値8)
(実測値_1)	(実測値_2)	(実測値_3)	(実測値_4)	(実測値_5)	(実測値_6)	(実測値_7)	(実測値_8)
(差_1)	(差_2)	(差_3)	(差_4)	(差_5)	(差_6)	(差_7)	(差_8)

右詰めに配置されます。

1 項目の配置を訂正するデータボックスを選択します。

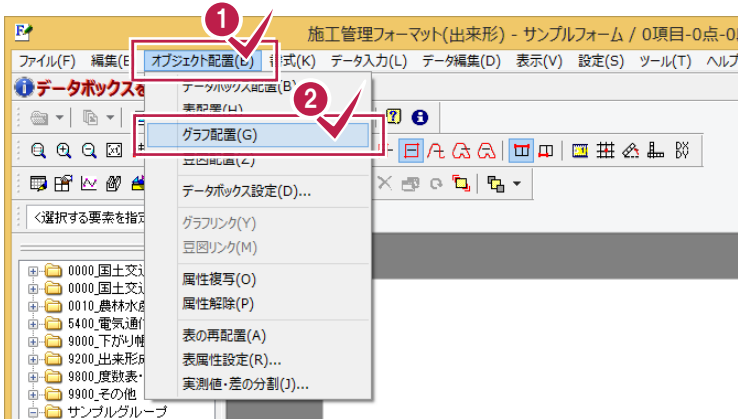
2 [右詰め]のアイコンをクリックします。

5 グラフの設定

グラフを設定します。

5-1 グラフを配置する

グラフを配置します。



1 [オブジェクト配置]をクリックします。

2 [グラフ配置]をクリックします。

3

測点名	(測点名1)	(測点名2)	(測点名3)	(測点名4)	(測点名5)	(測点名6)	(測点名7)	(測点名8)
設計値	(設計値1)	(設計値2)	(設計値3)	(設計値4)	(設計値5)	(設計値6)	(設計値7)	(設計値8)
実測値	(実測値_1)	(実測値_2)	(実測値_3)	(実測値_4)	(実測値_5)	(実測値_6)	(実測値_7)	(実測値_8)
差	(差_1)	(差_2)	(差_3)	(差_4)	(差_5)	(差_6)	(差_7)	(差_8)
記事								

4

3 4

グラフを配置するデータボックスの範囲の1点目、2点目をクリックします。

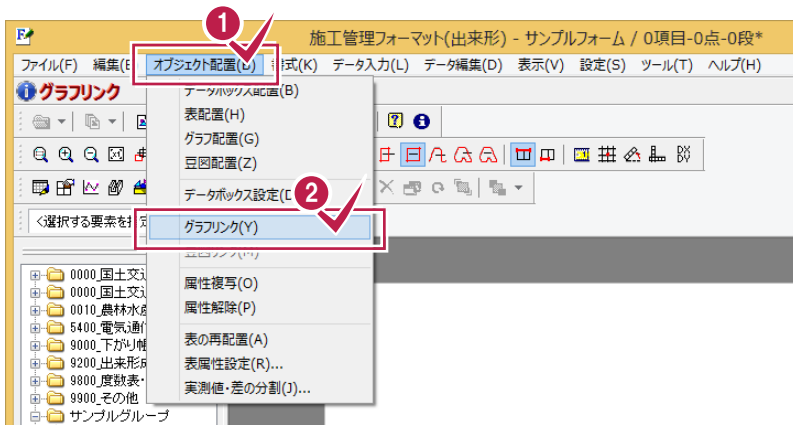


5 [差:折れ線グラフ]、[横グラフの作成]をオンにします。

6 [OK]をクリックします。

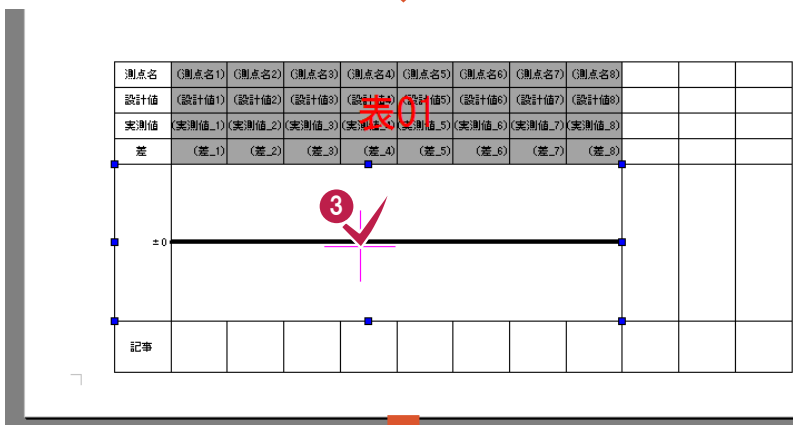
5-2 グラフと表を関連付ける

グラフと表を関連付けます。

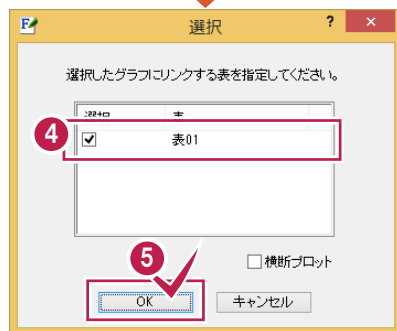


1 [オブジェクト配置]をクリックします。

2 [グラフリンク]をクリックします。

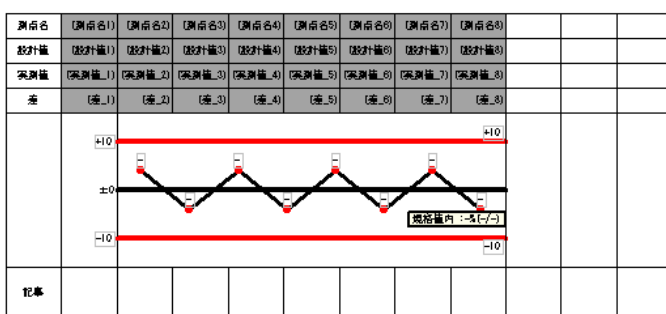


3 関連付けるグラフをクリックします。



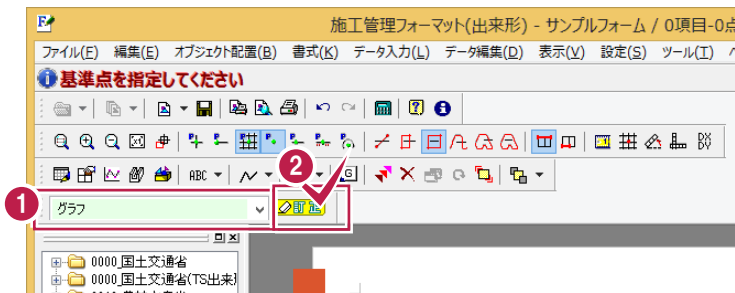
4 関連付ける表のチェックをオンにします。

5 [OK]をクリックします。

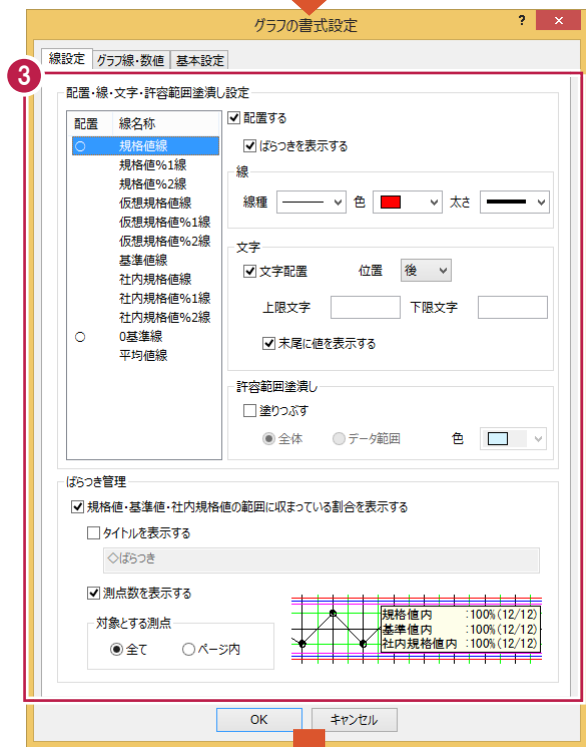


5-3 グラフの属性を設定する

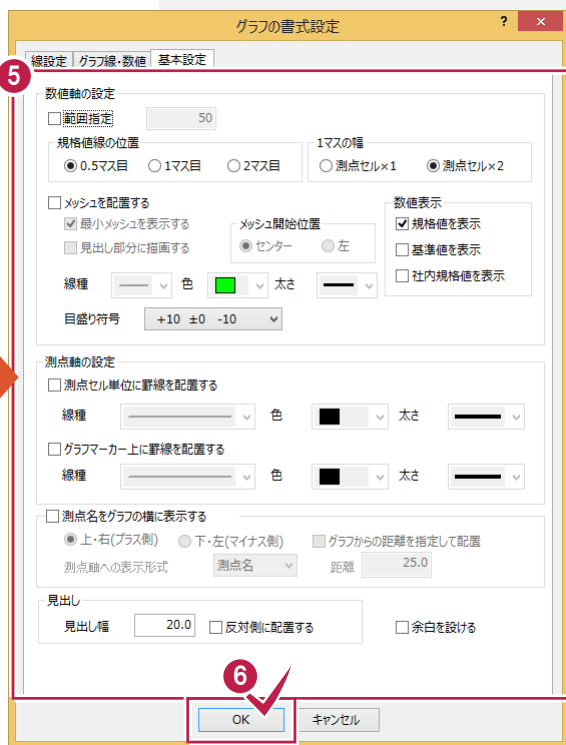
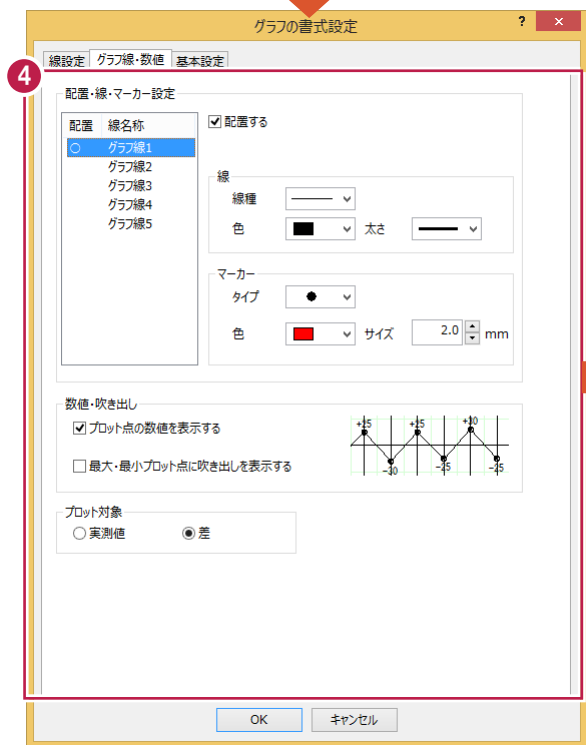
グラフの属性を設定します。



- 1 「グラフ」を選択します。
- 2 [訂正]をクリックします。



- 3
 - 4
 - 5
- [線設定 1][グラフ線][基本設定]タブの項目を左図のように設定します。



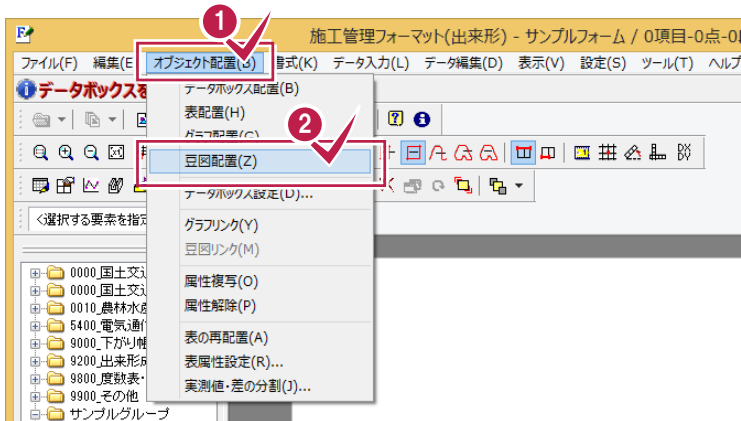
- 6 [OK]をクリックします。

6 豆図の配置

豆図を配置します。

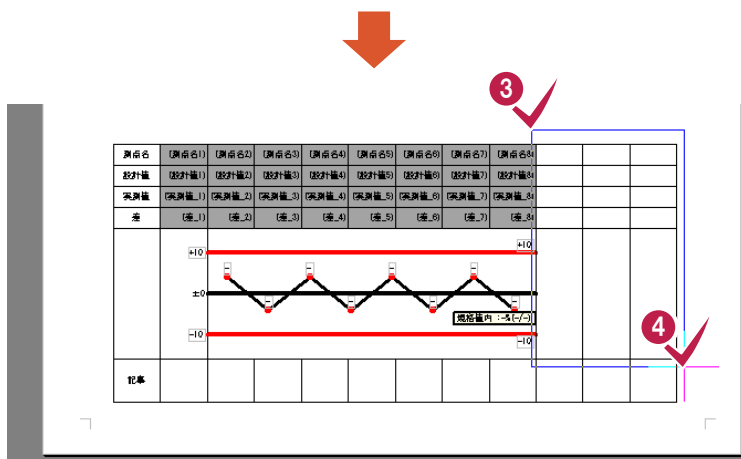
6-1 豆図を配置する

豆図を配置します。



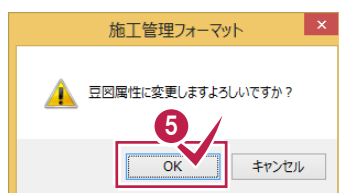
1 [オブジェクト配置]をクリックします。

2 [豆図配置]をクリックします。



3 4

豆図を配置するデータボックスの範囲の1点目、2点目をクリックします。

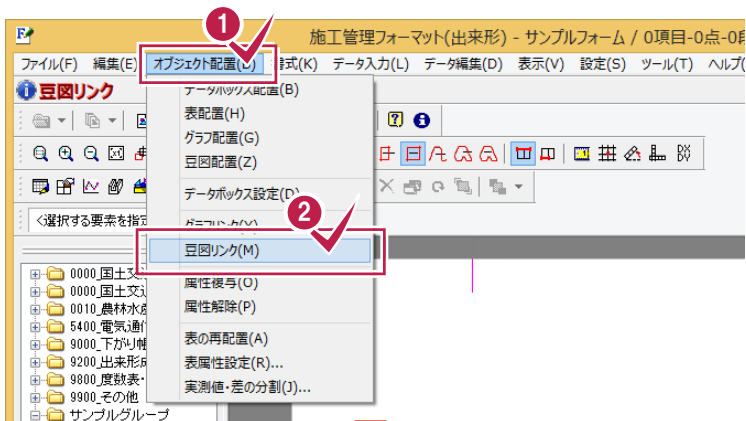


5 [OK]をクリックします。

6-2 豆図と表を関連付ける

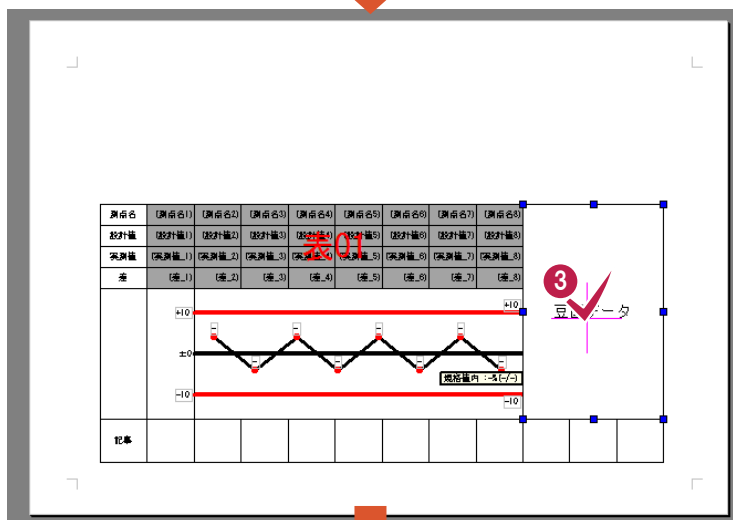
豆図と表を関連付けます。

表を関連付けると、豆図の寸法値の記号が成果作成時に指定する記号の色で描かれます。

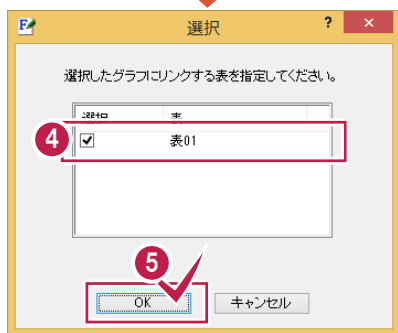


1 [オブジェクト配置]をクリックします。

2 [豆図リンク]をクリックします。

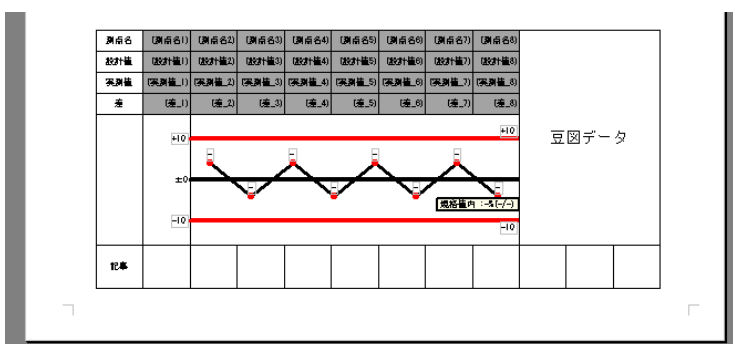


3 関連付ける豆図をクリックします。



4 関連付ける表のチェックをオンにします。

5 [OK]をクリックします。

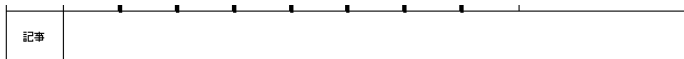
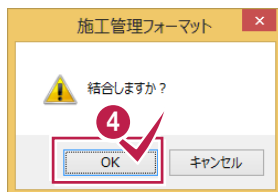
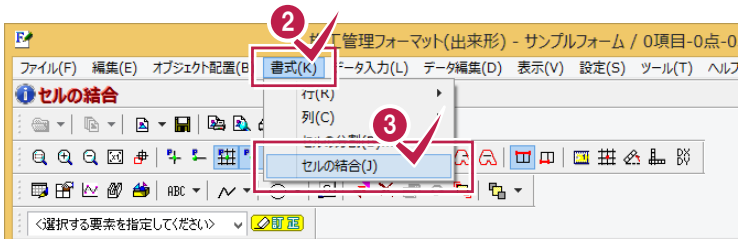
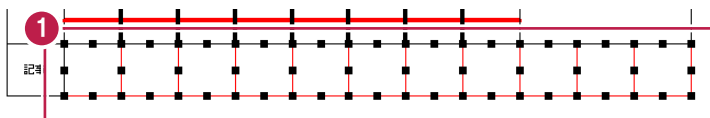


7 データボックスの結合

データボックスを結合します。

7-1 データボックスを結合する

記事の左側のデータボックスを1つにします。



1 結合するデータボックスを選択します。

2 [書式]をクリックします。

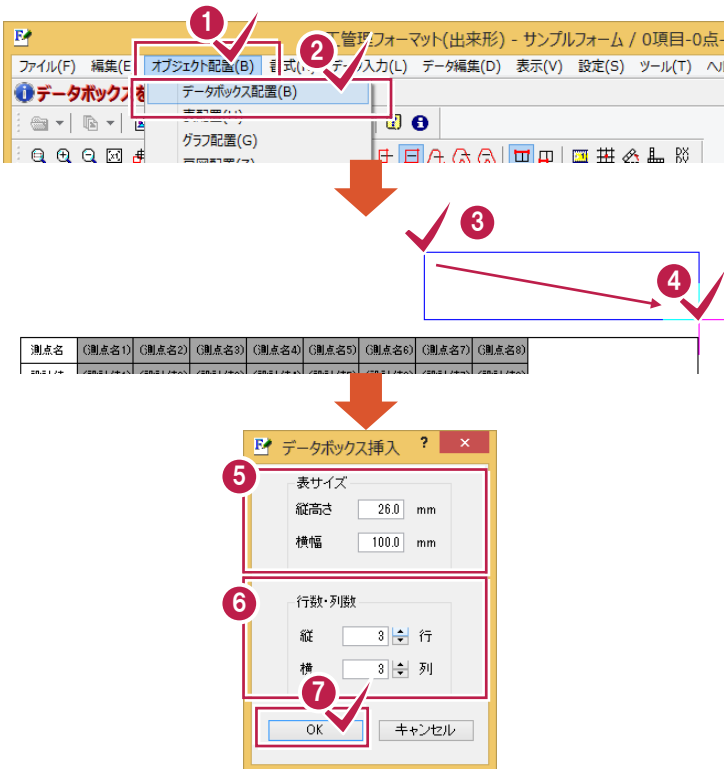
3 [セルの結合]をクリックします。

4 [OK]をクリックします。

8 請負者名などの設定

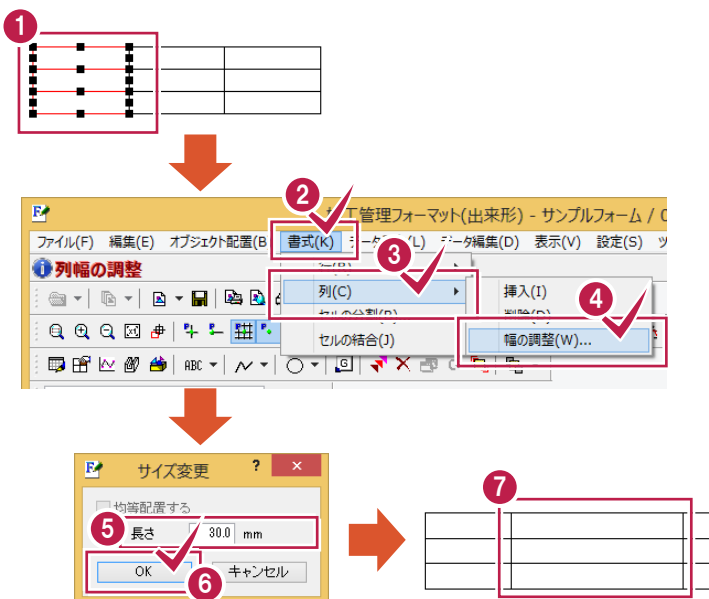
データボックスを配置して、請負者名、現場代理人、測定者を設定します。

8-1 データボックスを配置する



- 1 [オブジェクト配置]をクリックします。
- 2 [データボックス配置]をクリックします。
- 3 4 データボックスの1点目、2点目をクリックします。
- 5 [縦高さ]、[横幅]を確認または変更します。
- 6 [縦]に「3」、[横]に「3」と入力します。
- 7 [OK]をクリックします

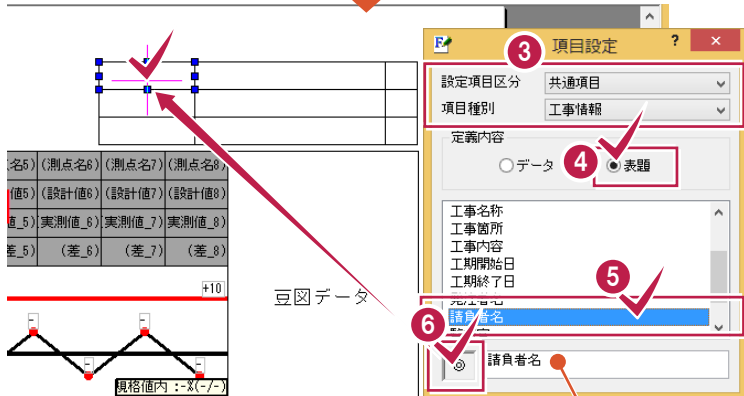
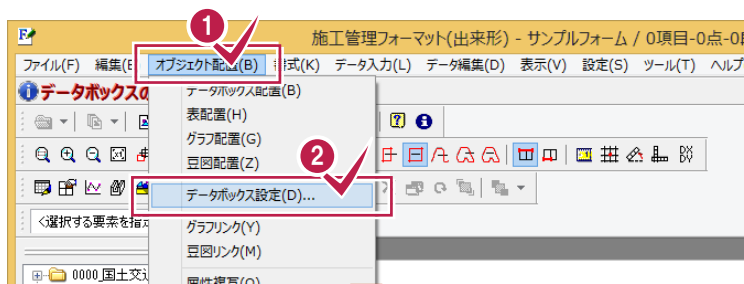
8-2 列の幅を調整する



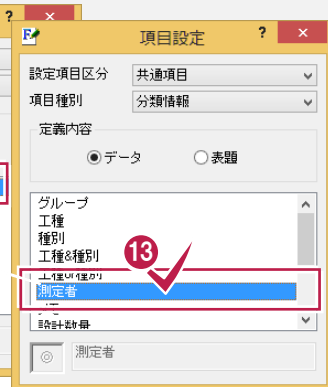
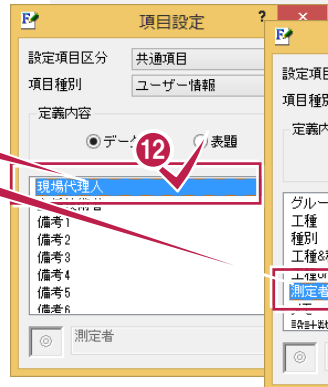
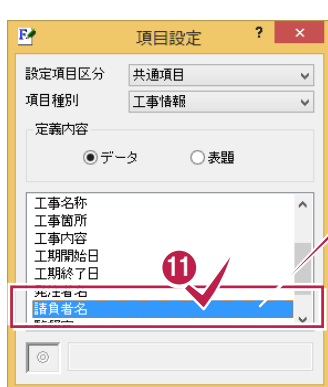
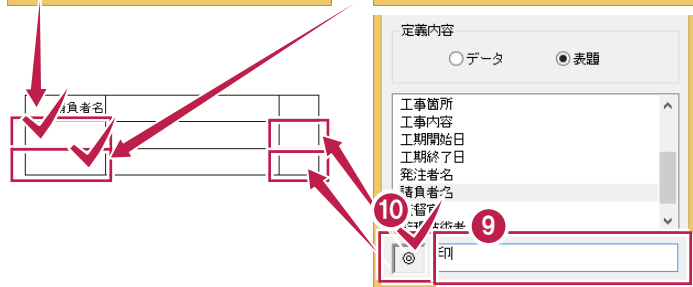
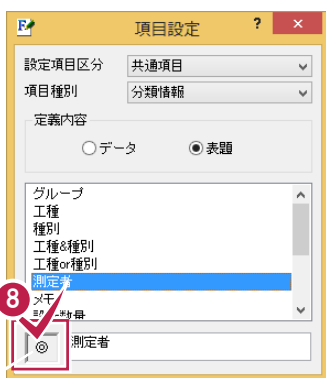
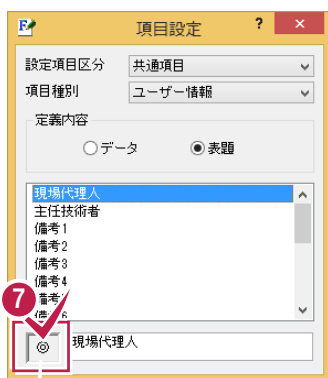
- 1 幅を調整する列を選択します。
- 2 [書式]をクリックします。
- 3 [列]をクリックします。
- 4 [幅の調整]をクリックします。
- 5 [長さ]に「30」と入力します。
- 6 [OK]をクリックします。
- 7 ①～⑥の操作を繰り返して、2列目の幅の[長さ]を「60」に変更します。

8-3 項目名を設定する

データボックスに項目名(「請負者名」「現場代理人」「測定者」)を設定します。



「請負者名」が表示されます。



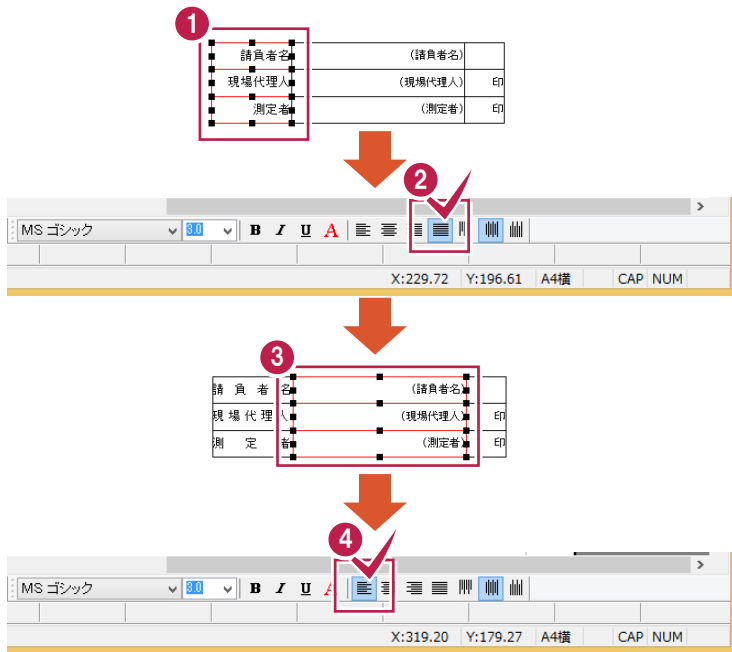
③～⑥の操作を繰り返して、左図のように「現場代理人」「測定者」を設定します。

ボックスに「印」と入力し、データボックスにドラッグします。

同様に[定義内容]で「データ」を選択して、データボックスに項目(「請負者名」「現場代理人」「測定者」)を設定します。

8-4 項目名、項目の配置を訂正する

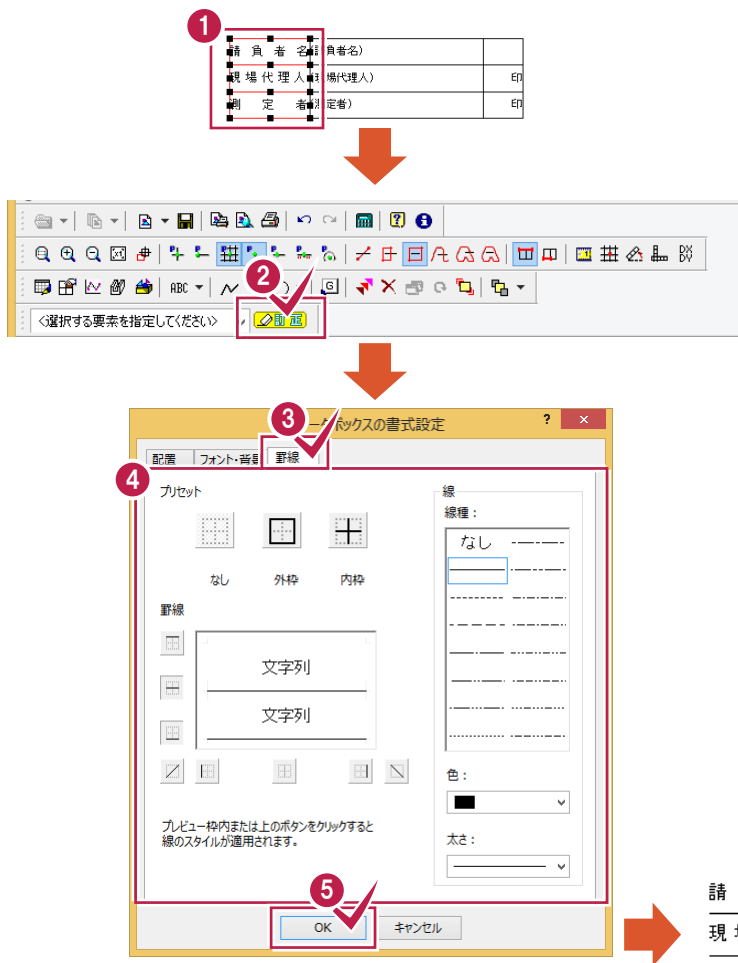
項目名の配置を「両端均等揃え」、項目の配置を「左詰め」に訂正します。



- 1 項目名の配置を訂正するデータボックスを選択します。
- 2 [両端均等揃え]のアイコンをクリックします。
- 3 項目の配置を訂正するデータボックスを選択します。
- 4 [左詰め]のアイコンをクリックします。

8-5 罫線を訂正する

罫線を下線のみに訂正します。



- 1 罫線を訂正するデータボックスを選択します。
- 2 [罫線]をクリックします。
- 3 [罫線]タブをクリックします。
- 4 下線以外の罫線を「なし」にします。
- 5 [OK]をクリックします。
- 6 7 同様に、残りの項目の罫線も下線のみに訂正します。

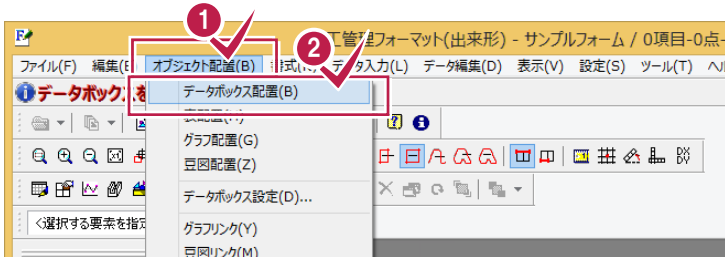
請負者名	(請負者名)	
現場代理人	(現場代理人)	印
測定者	(測定者)	印

9 成果名の設定

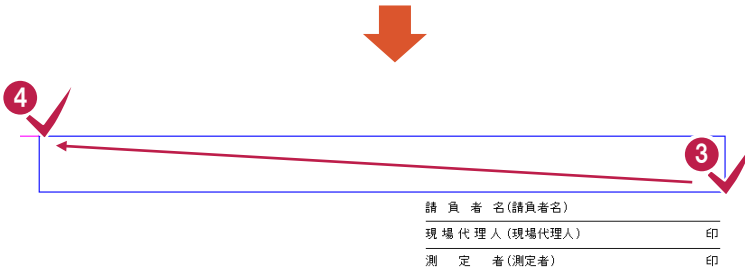
データボックスを配置して、成果名（「出来形管理表」）を設定します。

9-1 データボックスを配置する

データボックスを配置します。



- 1 [オブジェクト配置]をクリックします。
- 2 [データボックス配置]をクリックします。



- 3 4
- データボックスの1点目、2点目をクリックします。

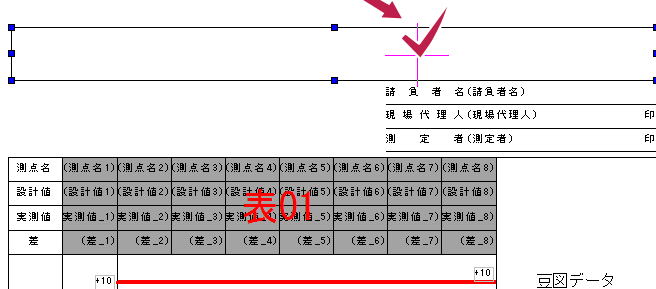
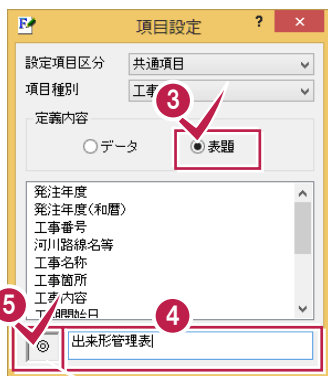
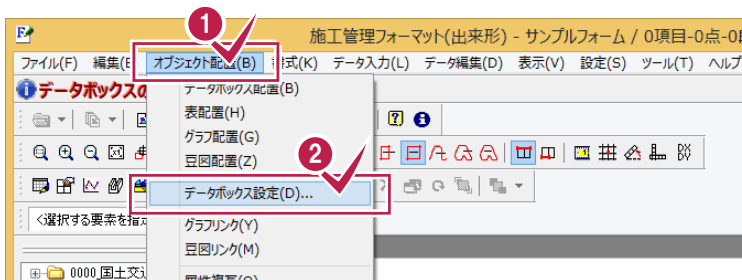


- 5 [縦高さ]、[横幅]を確認または変更します。
- 6 [縦]に「3」、[横]に「3」と入力します。
- 7 [OK]をクリックします

9-2

成果名を設定する

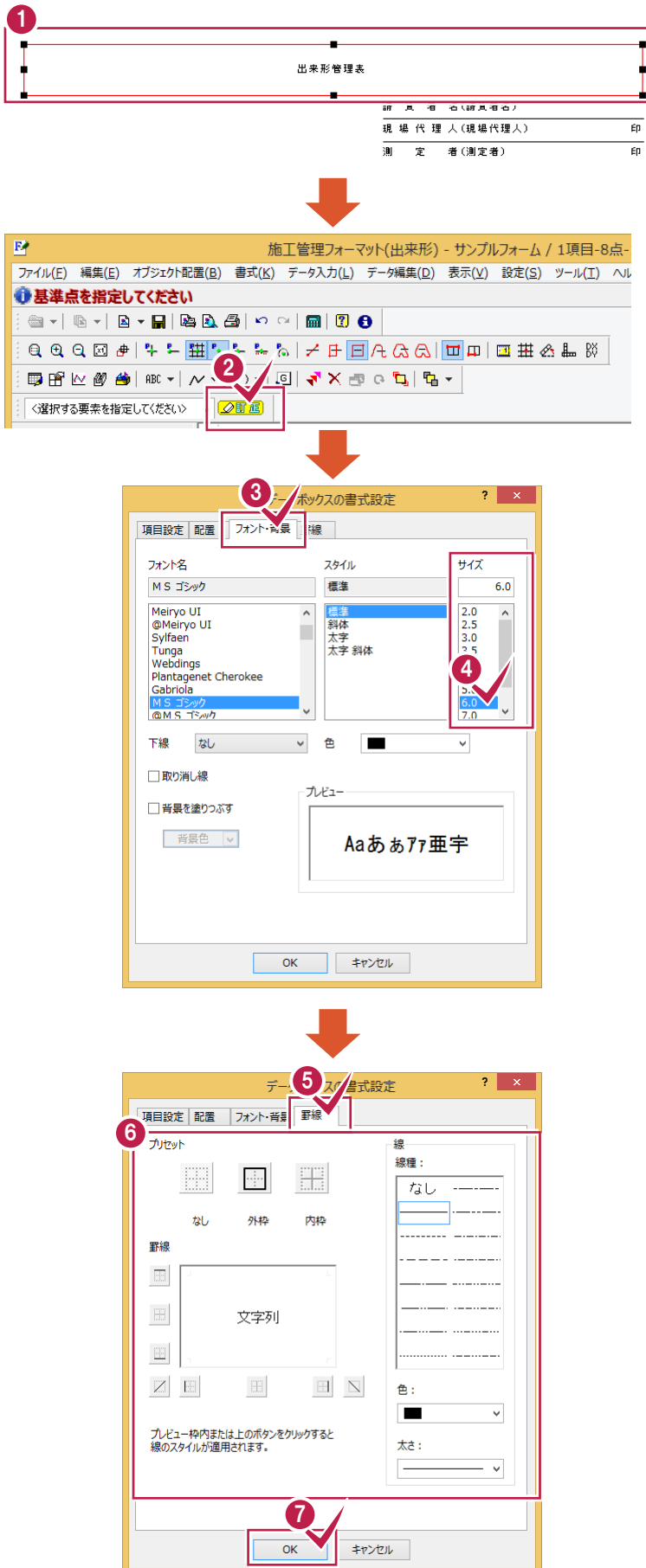
データボックスに成果名(「出来形管理表」)を設定します。



- 1 [オブジェクト配置]をクリックします。
- 2 [データボックス設定]をクリックします。
- 3 [表題]を選択します。
- 4 「出来形管理表」と入力します。
- 5 [◎]を「出来形管理表」を設定するデータボックスにドラッグします。

9-3 フォント、罫線を訂正する

項目のフォントサイズを「6」、罫線を「なし」に訂正します。



1 訂正する成果名を選択します。

2 [訂正]をクリックします。

3 [フォント・背景]タブをクリックします。

4 [サイズ]で「6」をクリックします。

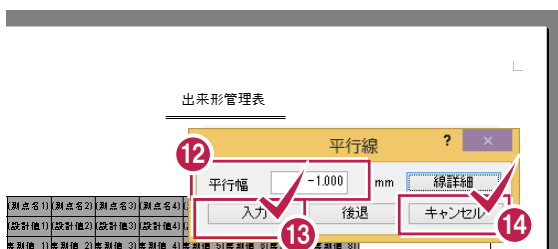
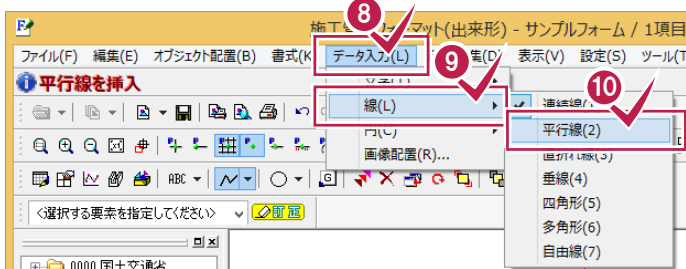
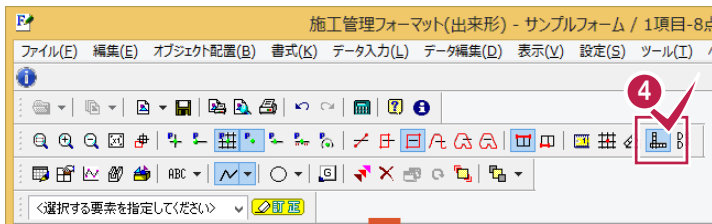
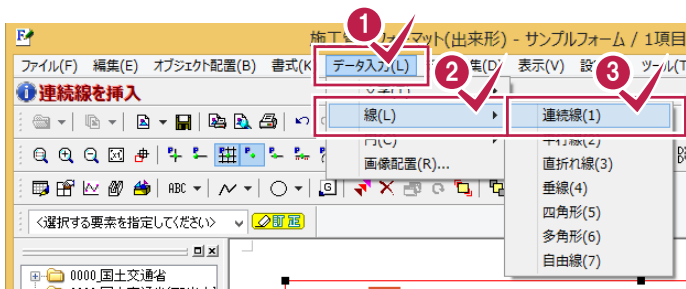
5 [罫線]タブをクリックします。

6 [罫線]を「なし」にします。

7 [OK]をクリックします。

9-4 2重線を入力する

「出来形管理表」の下に2重線を入力します。



1 [データ入力]をクリックします。

2 [線]をクリックします。

3 [連続線]をクリックします。

4 [ドラフタ]のアイコンをクリックしてオンにします。

5 6 連続線の1点目、2点目をクリックします。

7 [OK]をクリックします。

8 [データ入力]をクリックします。

9 [線]をクリックします。

10 [平行線]をクリックします。

11 基準となる線をクリックします。

12 [平行幅]に「-1」と入力します。

13 [入力]をクリックします。

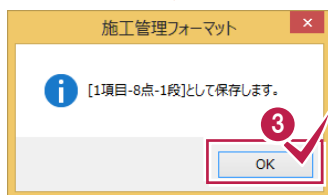
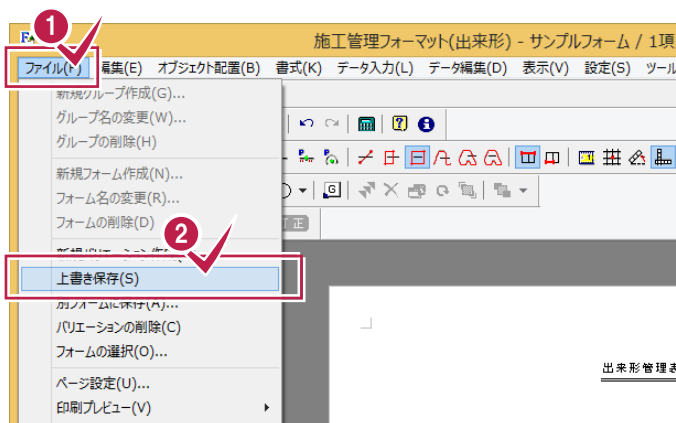
14 [キャンセル]をクリックします。

メモ [平行幅]には、基準線を入力した方向に対して、右側に入力する場合は「+」で、左側に入力する場合は「-」で入力します。

10 フォーマットの保存

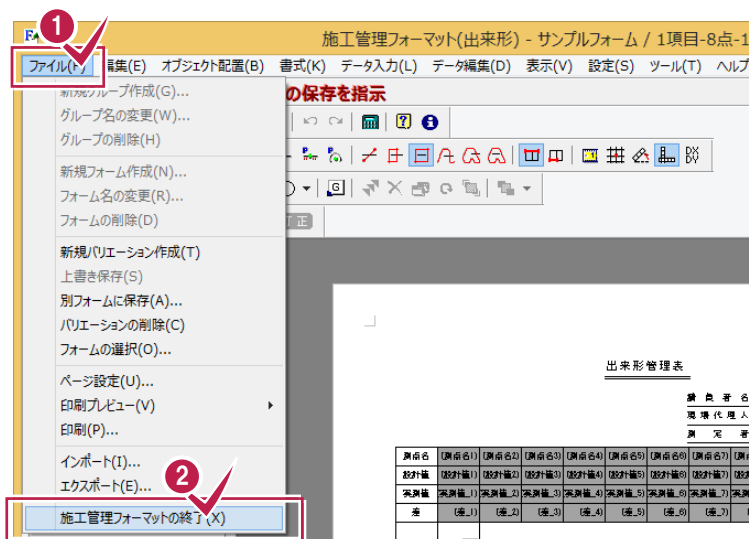
作成したフォーマットを保存します。入力例では[ファイル]－[上書き保存]コマンドで保存します。別のフォームとして保存するときは、[ファイル]－[別フォームに保存]コマンドを使用します。

10-1 フォーマットを保存する



- 1 [ファイル]をクリックします。
- 2 [上書き保存]をクリックします。
- 3 [OK]をクリックします。

10-2 [施工管理フォーマット]を終了する



- 1 [ファイル]をクリックします。
- 2 [施工管理フォーマットの終了]をクリックします。

バリエーションの 作成



[施工管理フォーマット(出来形)]を
起動して、バリエーションの
フォーマットを作成してみましょう。

- 1** 測点数違いのフォーム作成
(測点数を30点→27点に変更)

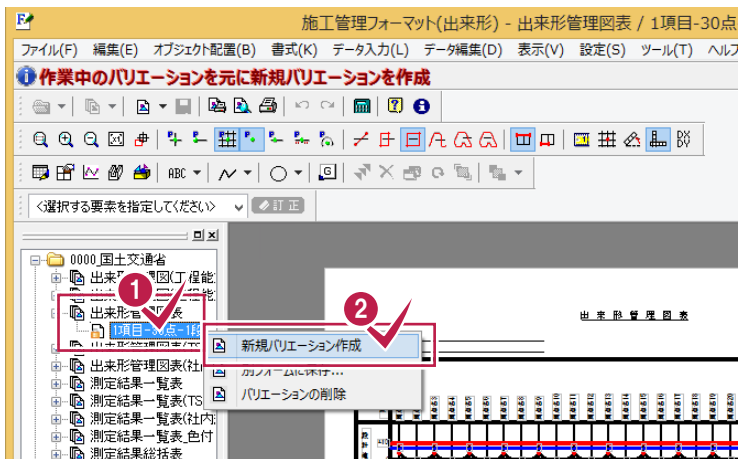
- 2** 測定項目数違いのフォーム作成
(測定項目数を10項目→12項目に変更)

- 3** 段数違いのフォーム作成
(段数を1段→2段に変更)

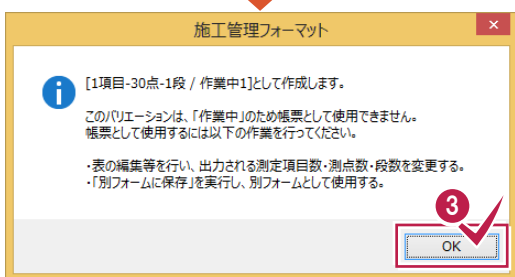
1 測点数違いのフォーム作成 (測点数を30点→27点に変更)

操作例では、[出来形管理図表]の「1項目-30点-1段」の測点数を30点から27点に変更したフォームを作成します。

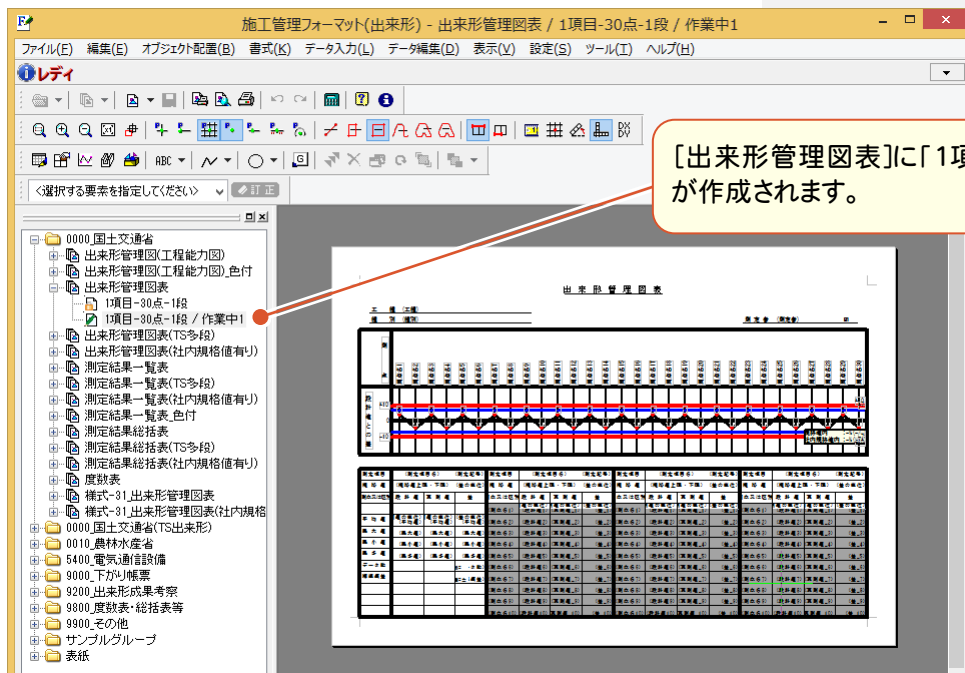
1-1 新規バリエーションを作成する



- 1 [出来形管理図表]の「1項目-30点-1段」をクリックします。
- 2 マウスの右ボタンを押して、「新規バリエーション作成」をクリックします。

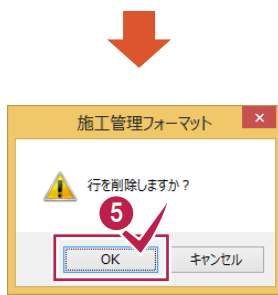
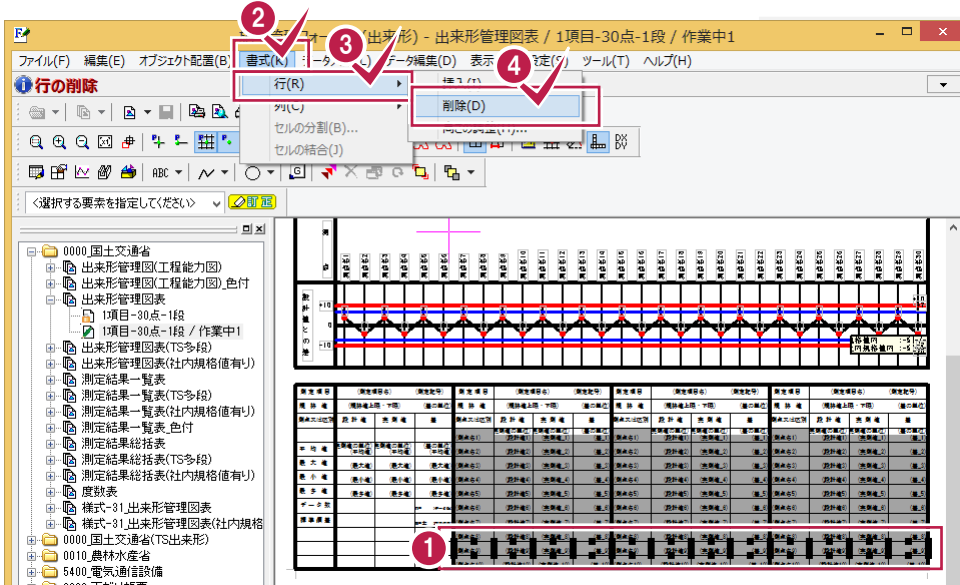


- 3 [OK]をクリックします。

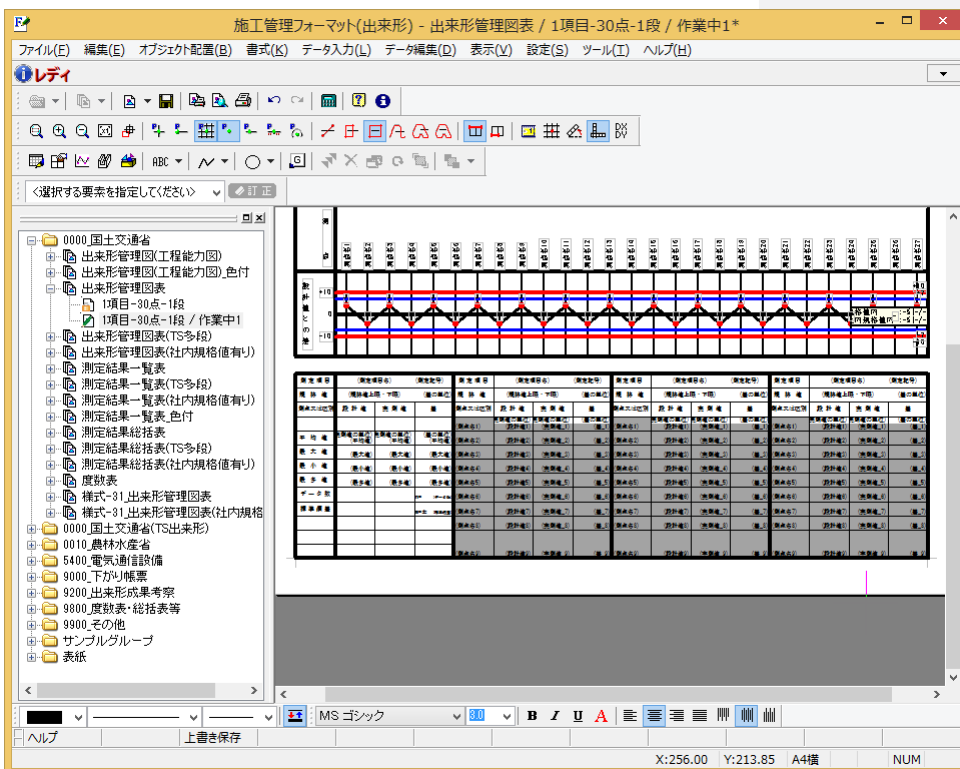


1-2 行を削除する

操作例では、1行削除します。



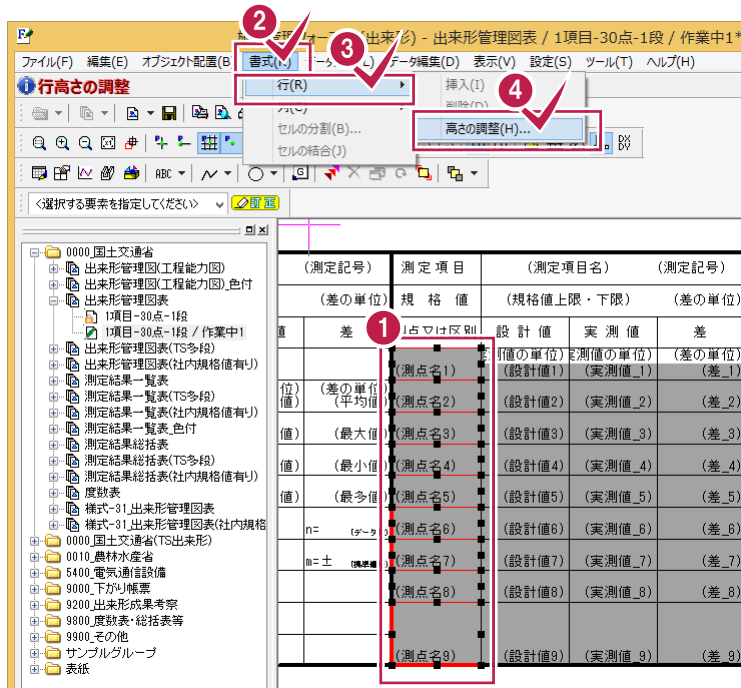
- 1 削除する行を選択します。
- 2 [書式]をクリックします。
- 3 [行]をクリックします。
- 4 [削除]をクリックします。
- 5 [OK]をクリックします。



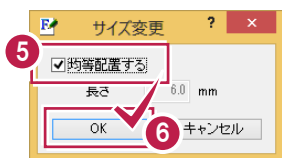
1-3 表のレイアウトを調整する

表のレイアウトを調整します。操作例では次のように操作します。

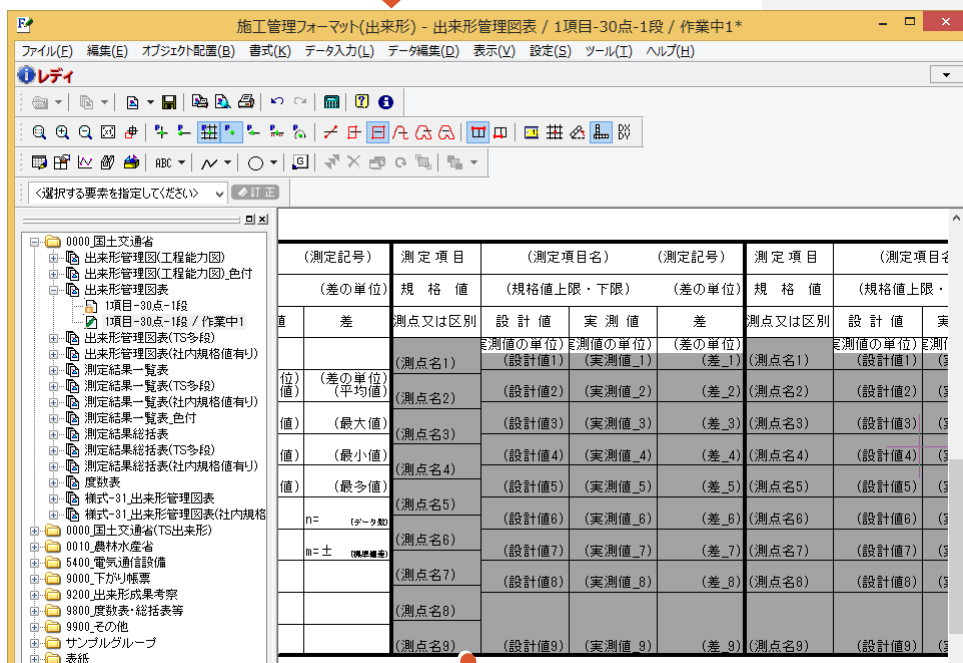
- 1つ目の表の測点名のセルの高さを均等にする
- 線を移動して、ずれを調整する
- 線を移動した表のセルの高さを均等にする



- 1 測点名のセルを選択します。
- 2 [書式]をクリックします。
- 3 [行]をクリックします。
- 4 [高さの調整]をクリックします。

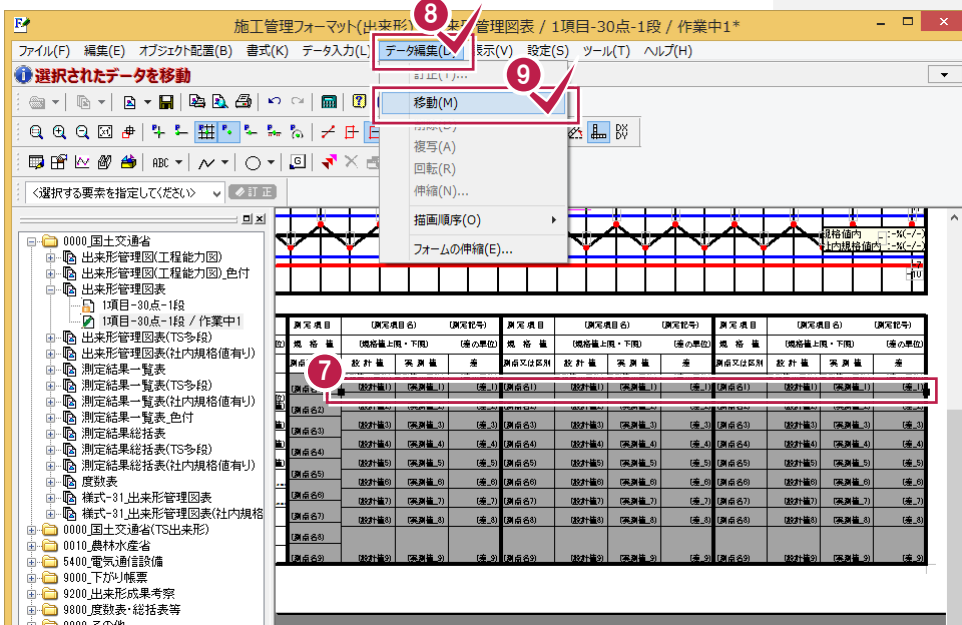


- 5 [均等配置する]のチェックをオンにします。
- 6 [OK]をクリックします。

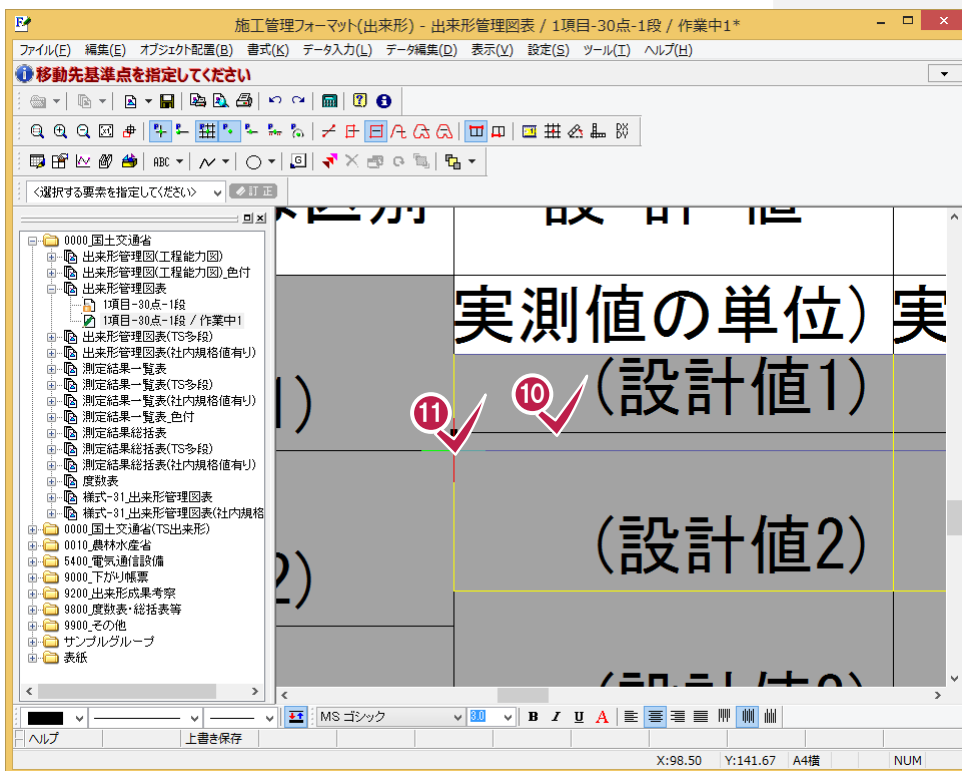


指定したセルの高さが均等になります。

1. 測点数違いのフォーム作成 (測点数を30点→27点に変更)

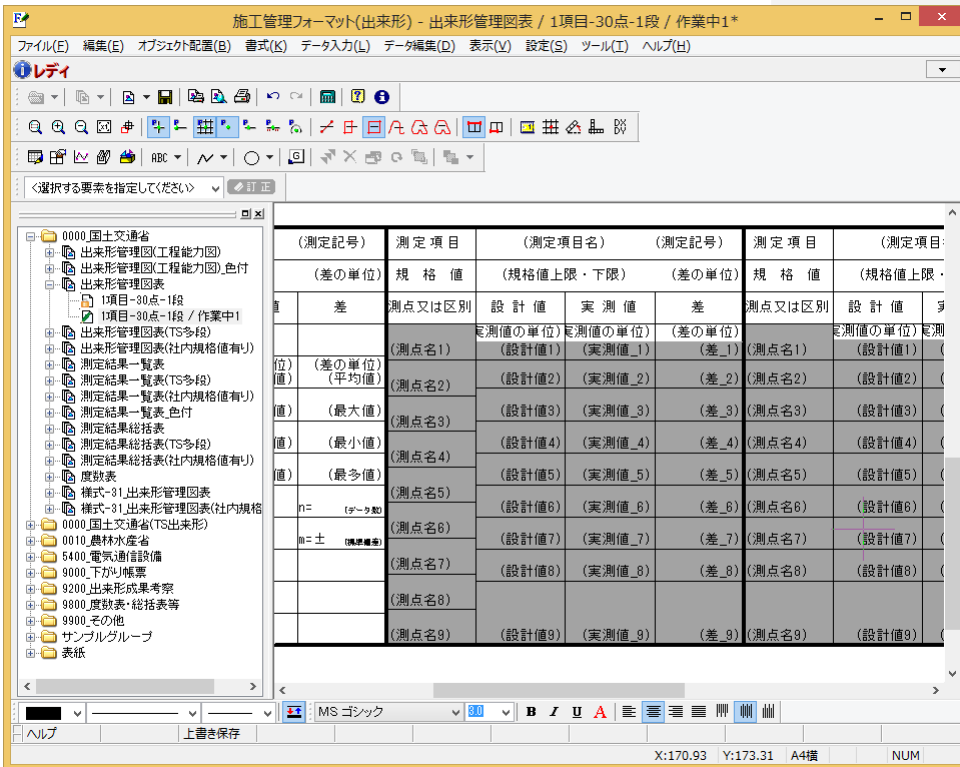
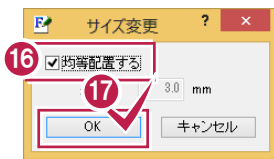
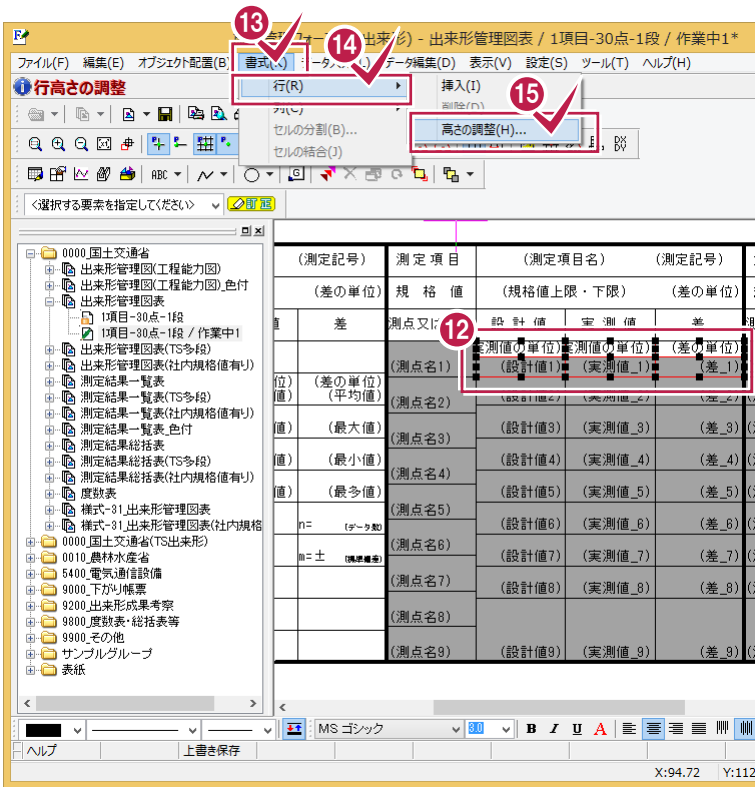


- 7 ずれを修正する線を選択します。
- 8 [データ編集]をクリックします。
- 9 [移動]をクリックします。

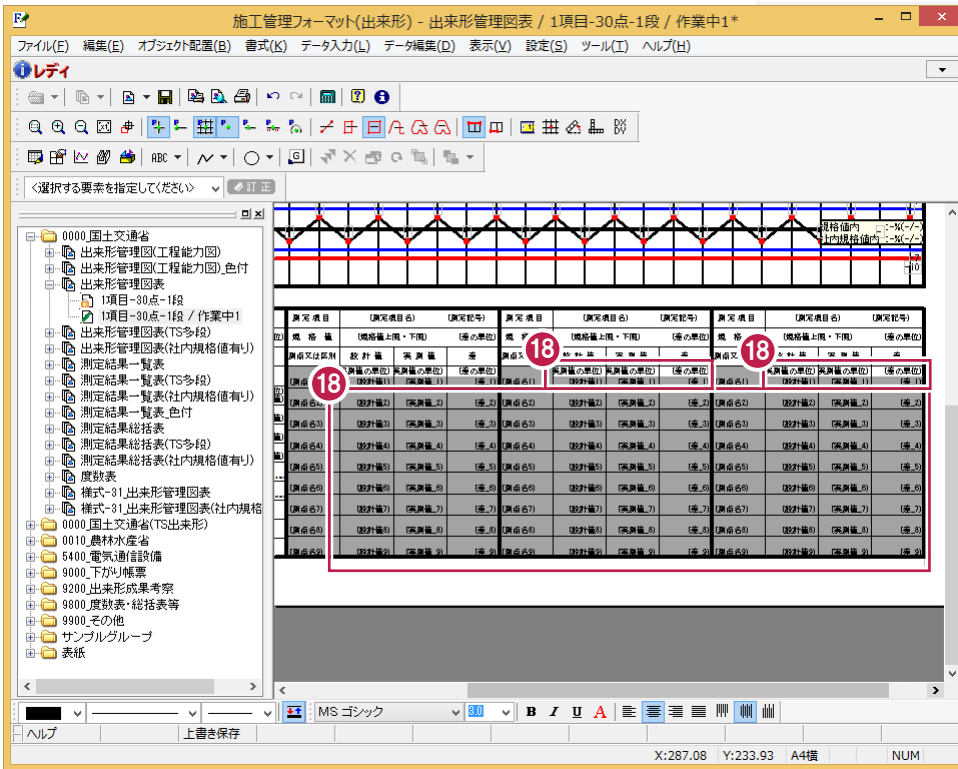


- 10 11 選択した線をいったん野線と同じ方向 (操作例では左右) ヘッドラッグした後、そのまま移動したい方向ヘッドラッグします。

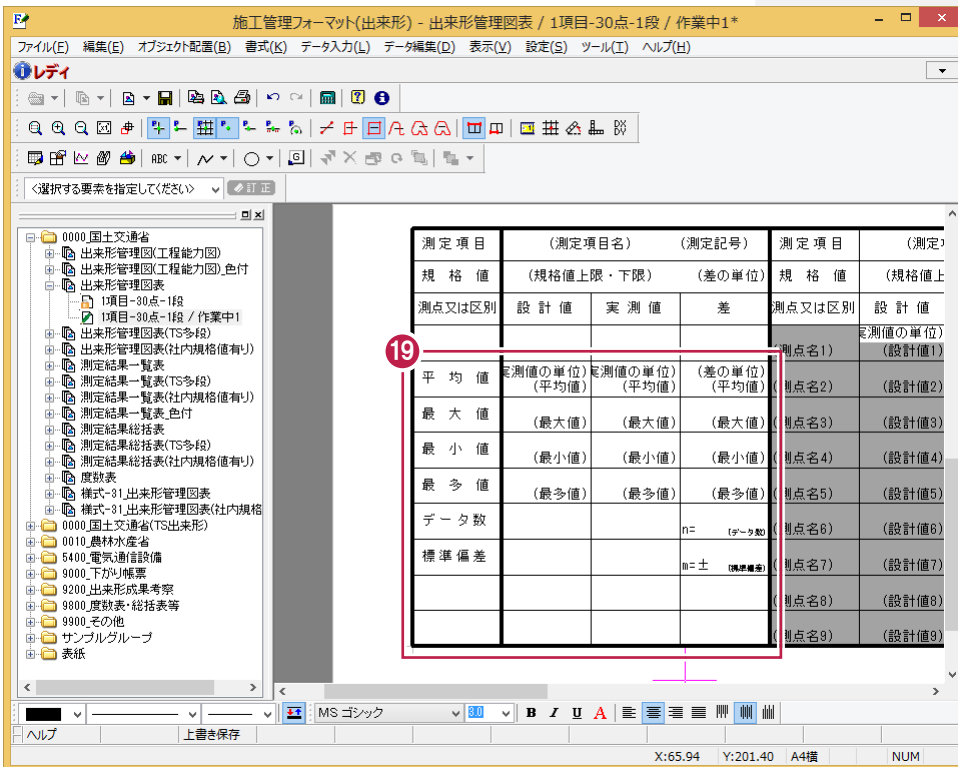
1. 測点数違いのフォーム作成 (測点数を30点→27点に変更)



1. 測点数違いのフォーム作成 (測点数を30点→27点に変更)



18 同様に、他のセルの高さも調整します。

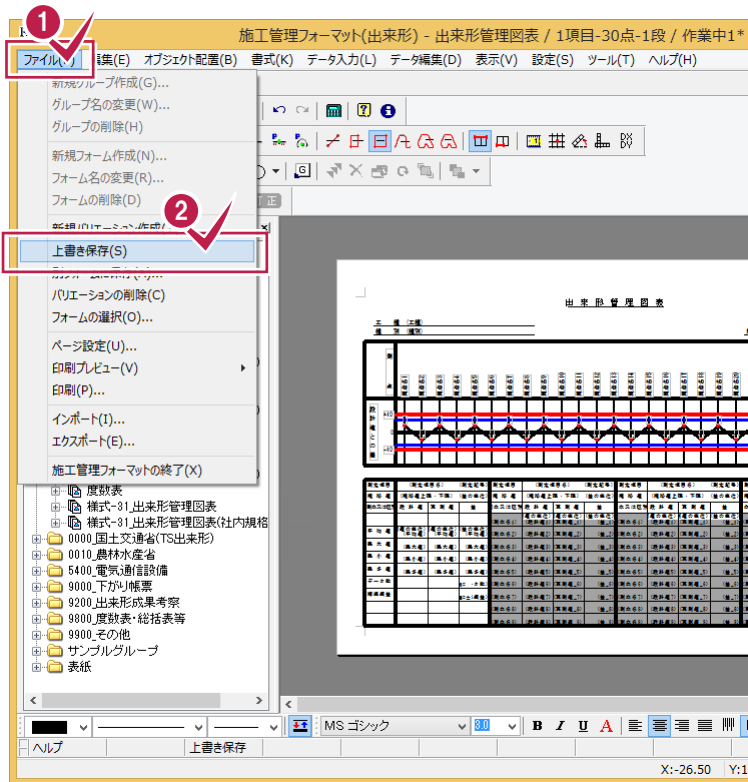


19 同様に、左の項目名の部分も[行の削除]、線の[移動]、行の[高さの調整]を用いて、右の表と行が揃うようにレイアウトを調整します。

1-4

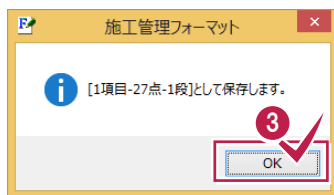
バリエーションを保存する

編集したバリエーションを保存します。操作例では[上書き保存]します。編集した内容によりバリエーションが設定されます。



1 [ファイル]をクリックします。

2 [上書き保存]をクリックします。

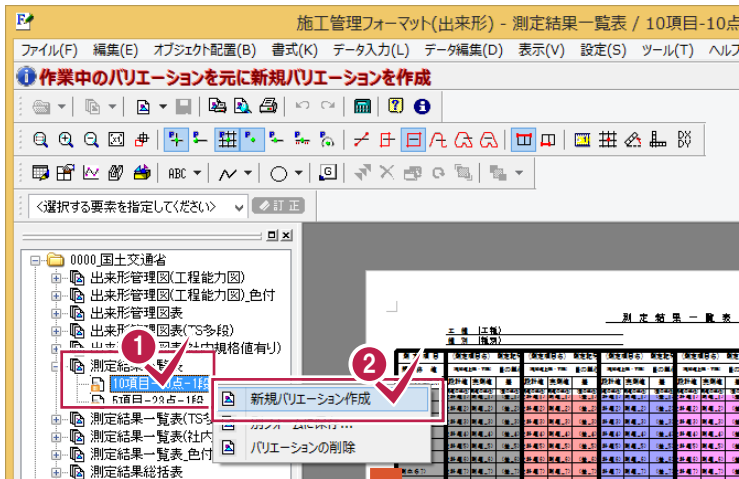


3 [OK]をクリックします。

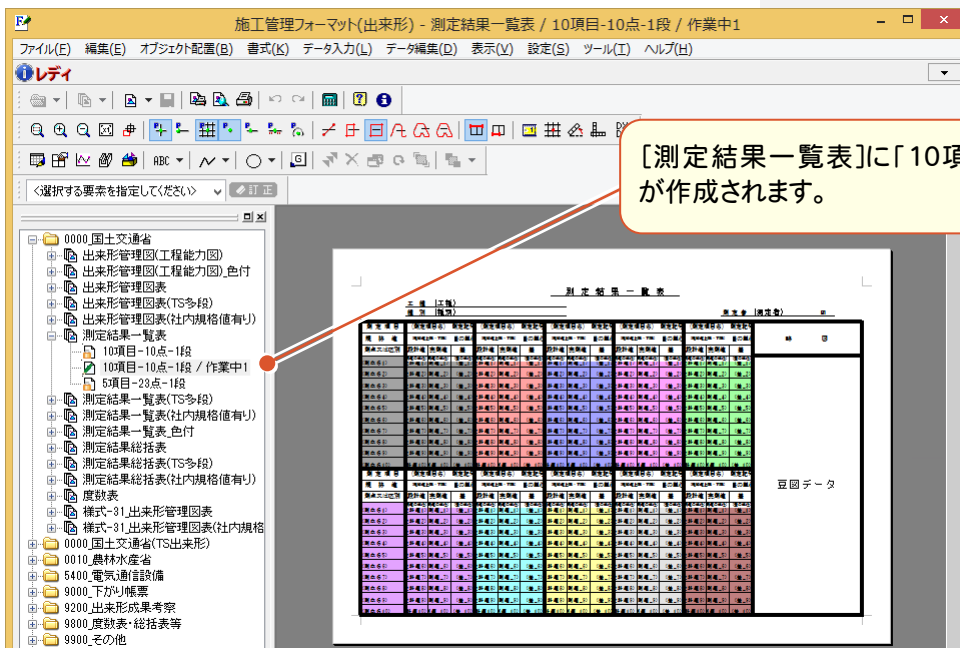
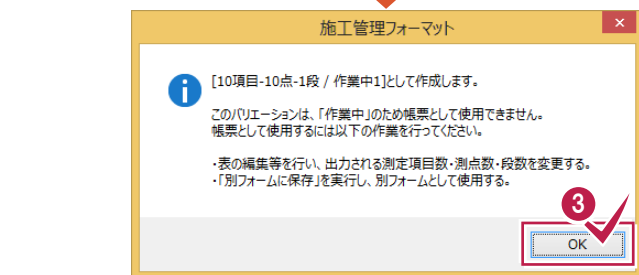
2 測定項目数違いのフォーム作成 (測定項目数を10項目→12項目に変更)

操作例では、[測定結果一覧表]の「10項目-10点-1段」の測定項目数を10点から12点に変更したフォームを作成します。

2-1 新規バリエーションを作成する



- 1 [測定結果一覧表]の「10項目-10点-1段」をクリックします。
- 2 マウスの右ボタンを押して、[新規バリエーション作成]をクリックします。
- 3 [OK]をクリックします。



[測定結果一覧表]に「10項目-10点-1段/作業中1」が作成されます。

2-2

表を追加する

[オブジェクト配置] - [属性複写] で表を追加します。

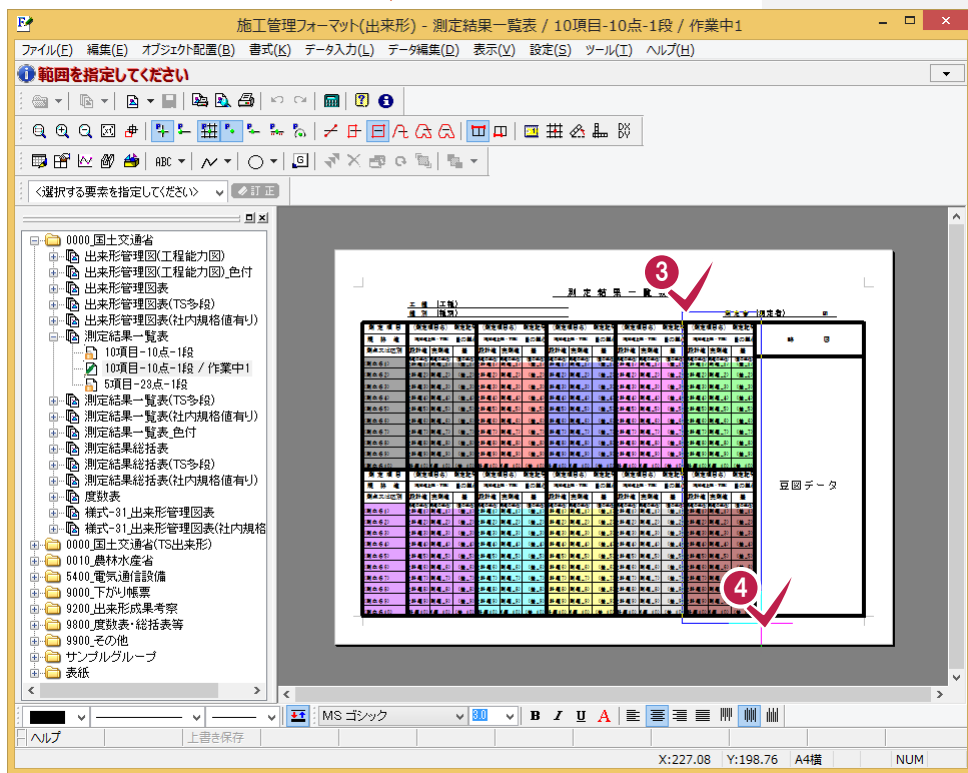


1 [オブジェクト配置] をクリックします。

2 [属性複写] をクリックします。

3 4

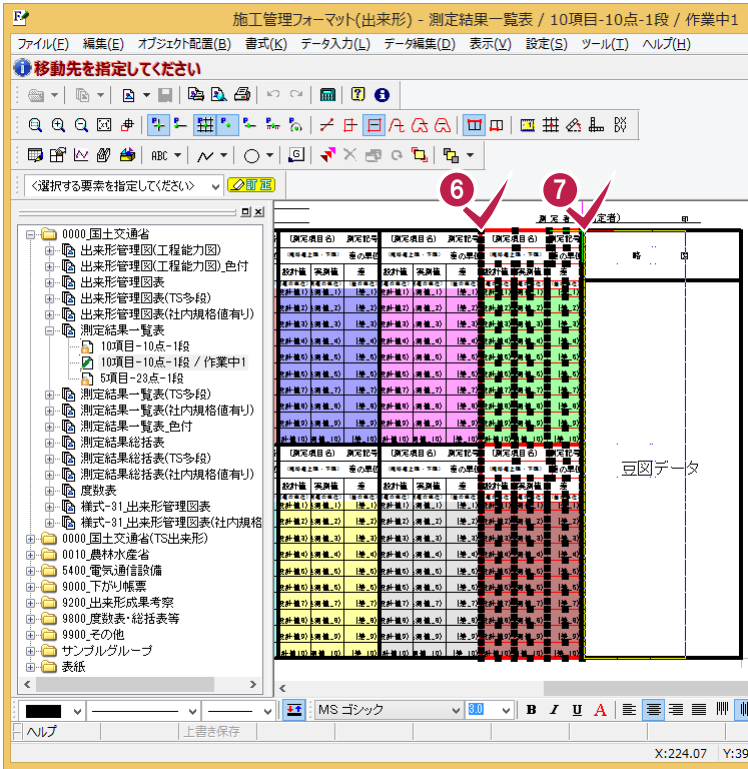
複写元の表の範囲を指定します。



5 [OK] をクリックします。

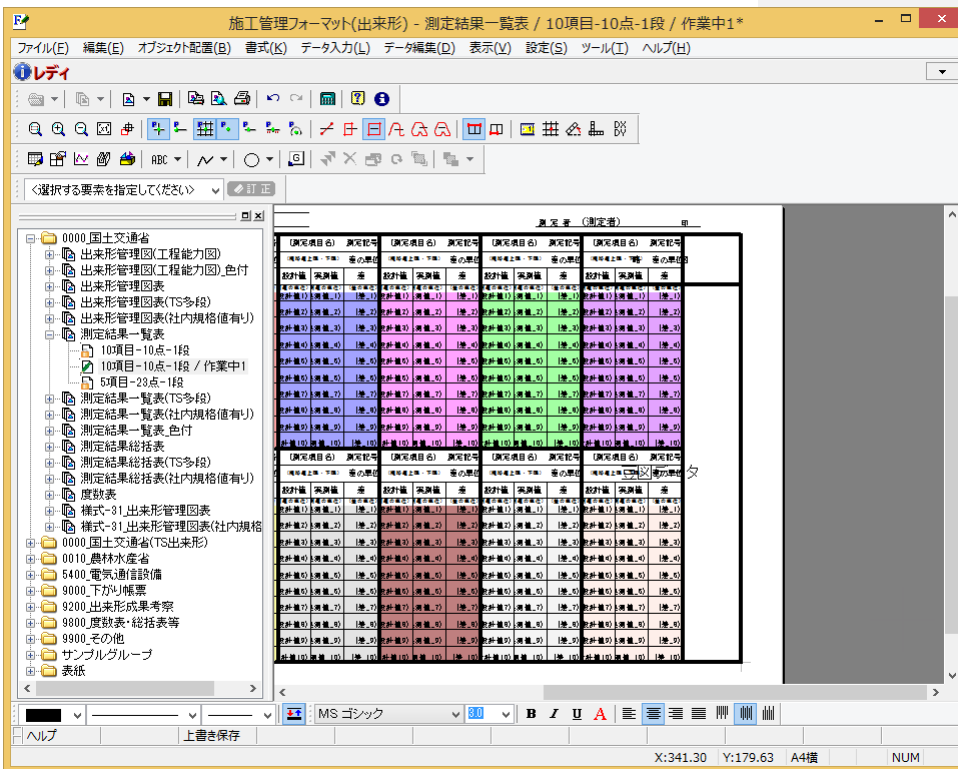


2. 測定項目数違いのフォーム作成(測定項目数を10項目→12項目に変更)



6 複写元基準点をクリックします。

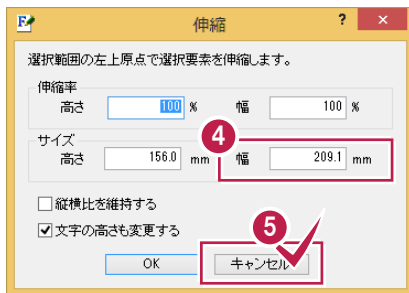
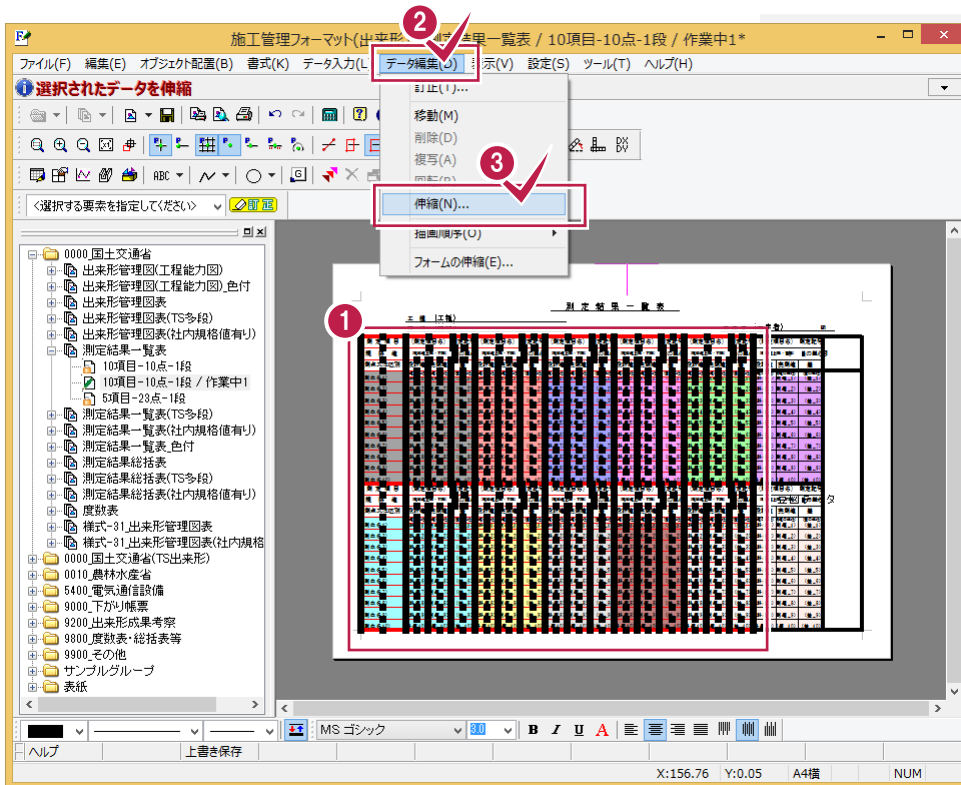
7 複写先基準点をクリックします。



2-3

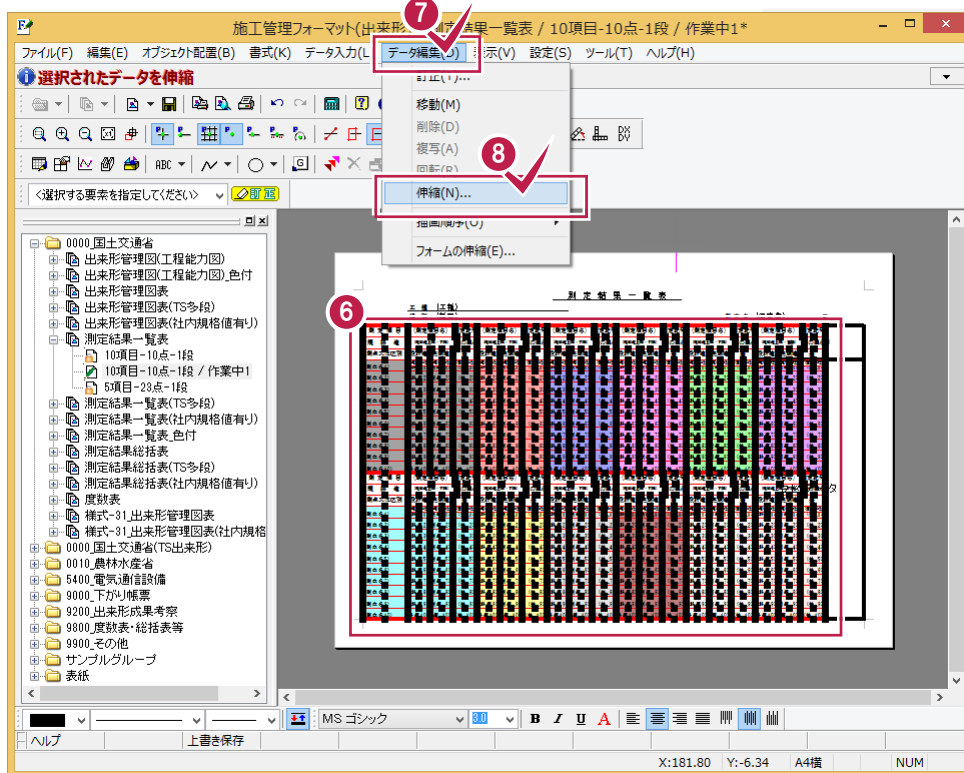
表領域を収縮する

[データ編集]-[伸縮]で表領域を元の表の領域に収縮します。
操作例では、元の表の幅を[データ編集]-[伸縮]で確認します。



- 1 元の表領域を選択します。
- 2 [データ編集]をクリックします。
- 3 [伸縮]をクリックします。
- 4 サイズの[幅]を確認します。
- 5 確認を終了したら、[キャンセル]をクリックします。

2. 測定項目数違いのフォーム作成 (測定項目数を10項目→12項目に変更)



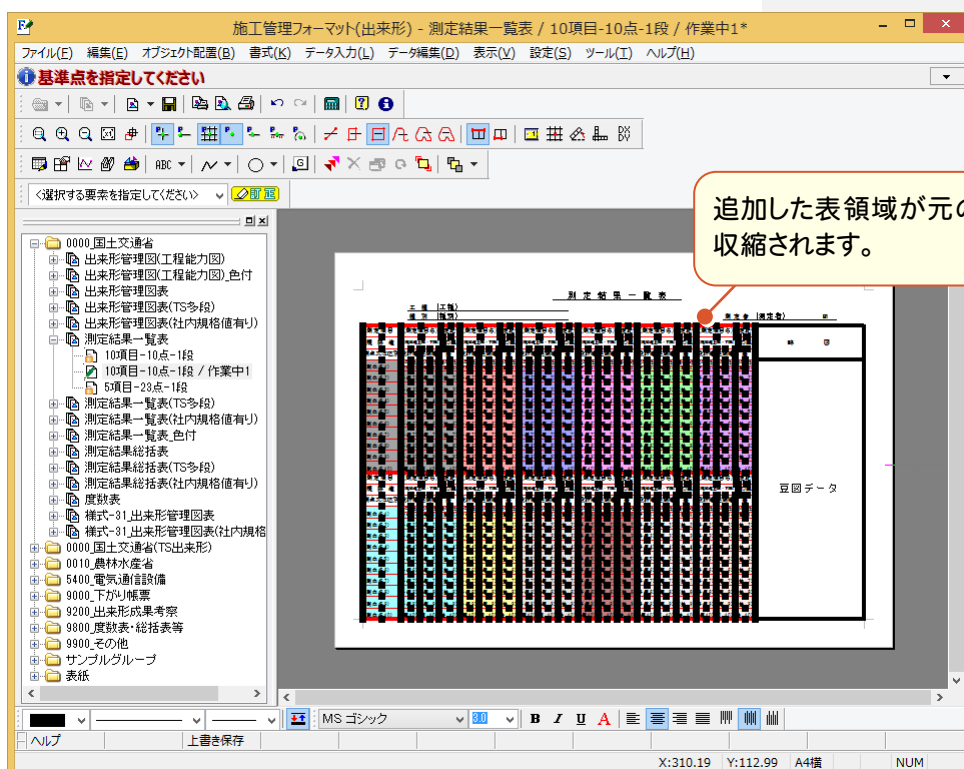
6 追加後の表領域を選択します。

7 [データ編集]をクリックします。

8 [伸縮]をクリックします。

9 サイズの[幅]に元の表領域の幅を入力します。

10 [OK]をクリックします。

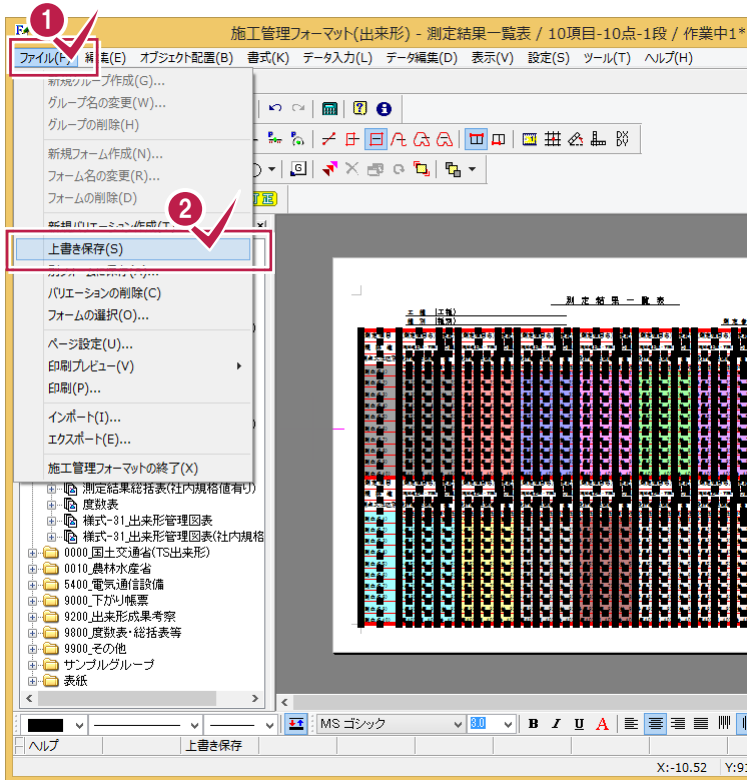


追加した表領域が元の表領域に収縮されます。

2-4

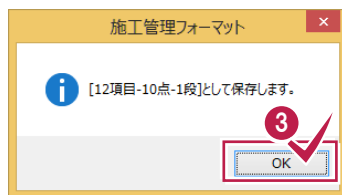
バリエーションを保存する

編集したバリエーションを保存します。操作例では[上書き保存]します。編集した内容によりバリエーションが設定されます。



1 [ファイル]をクリックします。

2 [上書き保存]をクリックします。

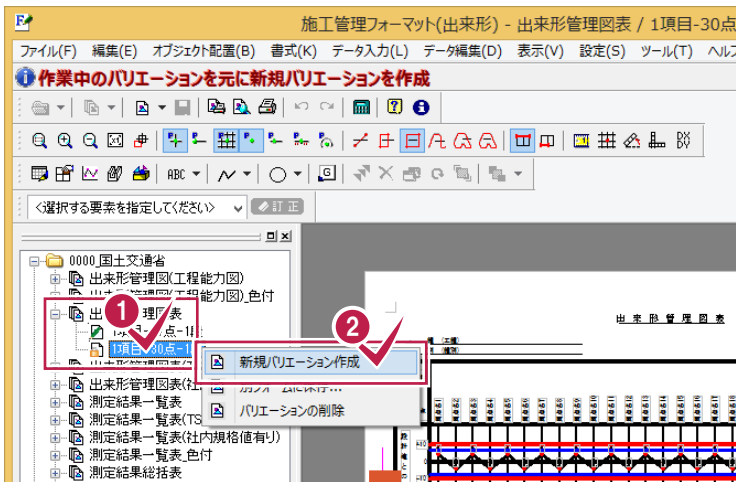


3 [OK]をクリックします。

3 段違いのフォーム作成 (段数を1段→2段に変更)

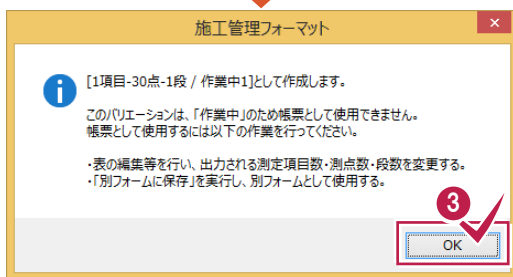
操作例では、[出来形管理図表]の「1項目-30点-1段」の段数を1段から2段に変更したフォームを作成します。

3-1 新規バリエーションを作成する

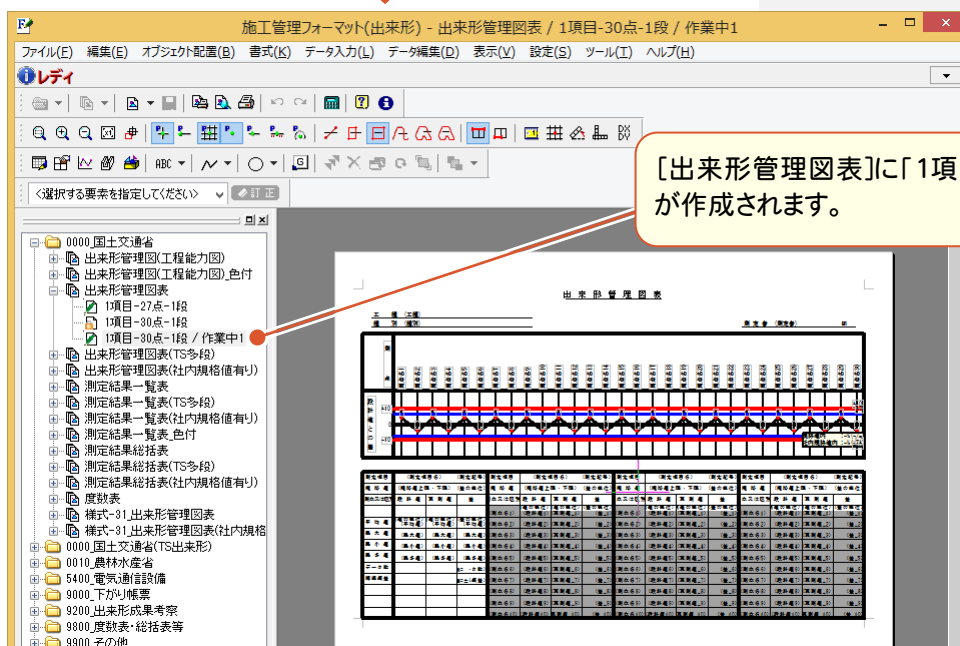


1 [出来形管理図表]の「1項目-30点-1段」をクリックします。

2 マウスの右ボタンを押して、[新規バリエーション作成]をクリックします。



3 [OK]をクリックします。

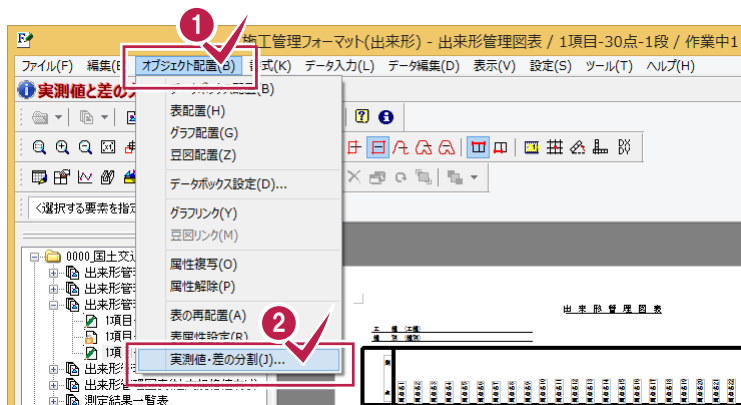


[出来形管理図表]に「1項目-30点-1段/作業中1」が作成されます。

3-2

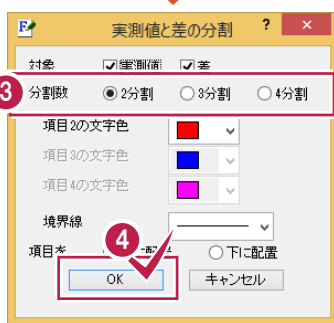
実測値・差を分割する

[オブジェクト配置] - [実測値・差の分割]で、2分割します。



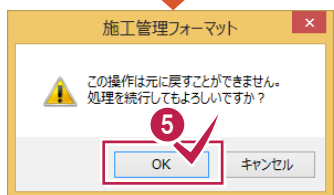
1 [オブジェクト配置]をクリックします。

2 [実測値・差の分割]をクリックします。

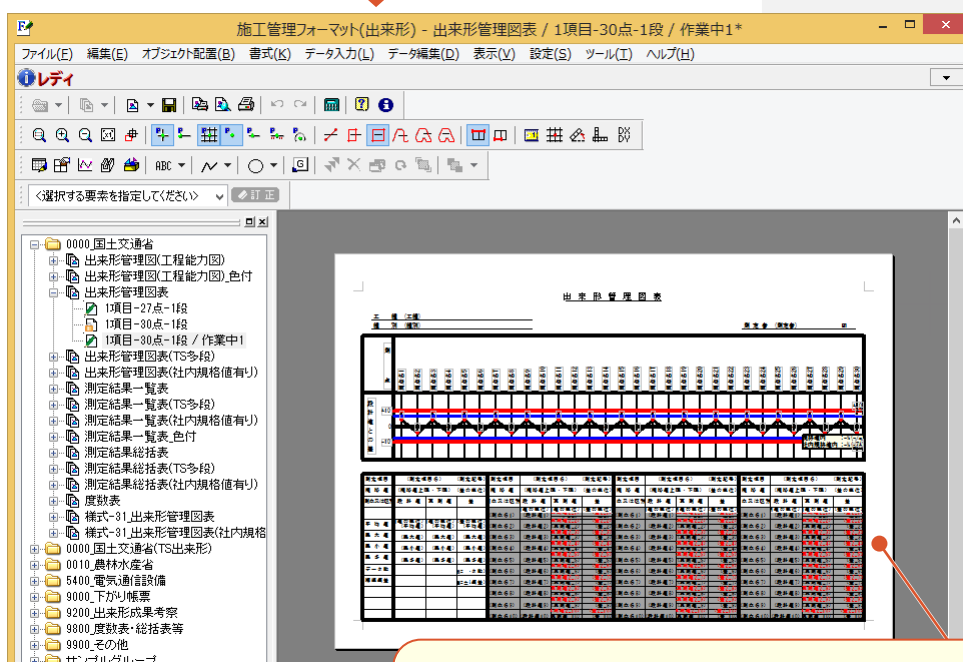


3 [分割数]で「2分割」を選択します。

4 [OK]をクリックします。



5 [OK]をクリックします。

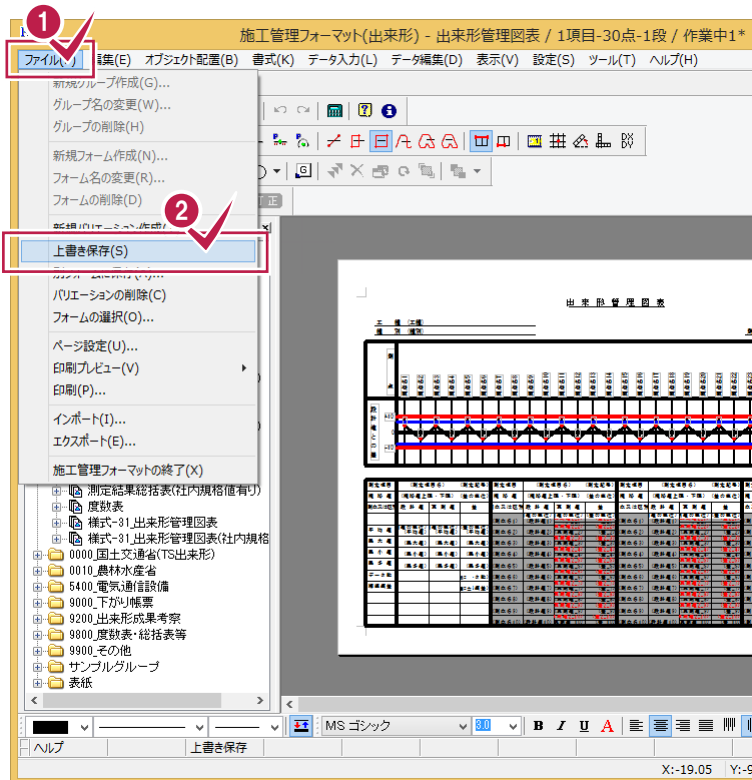


表の各セルの高さが小さい場合は、測点数を減らして各セルの高さを大きくしてください。(操作は、「1. 測点数違いのフォーム作成 (測点数を30点→27点に変更)」(P.24)を参照してください。)

3-3

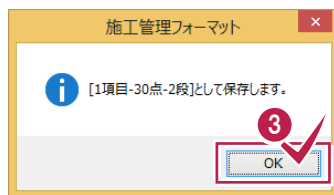
バリエーションを保存する

編集したバリエーションを保存します。操作例では[上書き保存]します。編集した内容によりバリエーションが設定されます。



1 [ファイル]をクリックします。

2 [上書き保存]をクリックします。



3 [OK]をクリックします。